

上下水道アンケート調査結果報告書

(令和8年1月実施)

池田市上下水道部

はじめに

市民の皆さまには、日頃から上下水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、貴重な時間を割いて、アンケートにご協力していただいた皆さまには感謝申し上げます。水道事業と下水道事業が組織統合してから5回目の調査を多くの皆さまのご協力を得て行うことができました。

近年、頻発化・激甚化する集中豪雨や気候変動の影響による冬場の湯水など災害への対応は予断を許さない状況となっています。また、上下水道施設の老朽化により、大規模な漏水事故、陥没事故が全国的にも相次いで発生しています。節水機器の普及や人口減少が予測されるなか、莫大な維持管理費や更新費が見込まれており、長期的に健全な上下水道事業の運営が求められています。市民の皆さまに安全で安価な水道水を安定的に供給することを目的とする水道事業と、市民生活を水害等から守る治水、浸水の防除、水質の保全を目的とする下水道事業は、その役割がますます重要となっています。

社会・経済情勢や防災意識は大きく変化し、ライフスタイルや水道水、下水処理に対する意識も変化しているものと考えられます。そこで、今回のアンケート調査は、皆さまの上下水道のご利用状況と上下水道に関する率直なご意見をお伺いし、今後の事業運営の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

今回の調査結果を参考に、将来の上下水道事業のあり方を模索し、市民の皆さまの求める声を反映しながら、事業の改善とサービスの向上に努めてまいります。

池田市上下水道アンケート 調査結果報告書 [目次]

アンケート結果概要

結果まとめ 1

基本属性

問 1 性別 3

問 2 年齢 3

問 3 同居人数 3

問 4 在住年数 3

問 5 住居形態 4

水源

問 6 池田市の水源 5

問 7 水源汚染への関心 6

問 8 大阪広域水道企業団について
. 6

問 9 猪名川水源の確保について
. 6

水道水の安全性

問 10 水道水の飲用方法 7

水道水の味 8

直接飲まない理由 8

問 11 水質改善と料金評価 9

水道水の使用状況

問 12 入浴状況 10

湯船の使用状況 10

問 13 洗濯状況 11

問 14 食洗機の利用状況 11

下水道の役割やしきみ

問 15 下水道の役割やしきみ 12

問 16 老朽化対策の取り組み 13

災害対策

問 17 ボトルウォーターの購入 14

購入量・目的 14

問 18 災害時の備えと対策 15

飲料水のくみ置き 15

お風呂での水の確保 15

問 19 断水対策 16

湧水・浸水について

問 20 湧水時の節水状況 17

節水方法 17

問 21 浸水時の準備状況 18

準備方法 18

水道料金・下水道使用料

問 22 水道料金の独立採算制 19

問 23 下水道使用料のしくみ 19

問 24 水道料金の満足度 20
高いと回答した理由 20

問 25 値上げ・値下げについて 22

問 26 財政状況の認識 23

問 27 事業運営の認識 23

民間委託

問 28 検針委託の認識 24

問 29 夜間・休日委託の認識 24

問 30 上下水道事業の全面委託 24

資源の有効利用について

問 31 下水処理水の有効活用 25

広報・PRについて

問 32 上下水道に関する情報源 26

問 33 情報入手媒体 27

問 34 広報紙「水だより」の閲覧 28
広報紙の情報量 28

未読と回答した理由 29

問 35 上下水道で知りたい情報 29

問 36 イベントの認識 30

問 37 ぴちよりの認識 31

上下水道サポーター会議

問 38 サポーター会議の認識 32

問 39 サポーター会議の参加意欲 32
不参加と回答した理由 32

これからの上下水道に望むこと

問 40 上下水道事業に望むこと 33

調査票 35

【アンケート概要】

調査目的	上下水道使用者の適切な顧客ニーズを把握し、今後の上下水道事業の運営に資する。
調査対象	池田市の水需要家
抽出方法	無作為抽出法
実施期間	令和7年12月27日～令和8年1月30日
調査方法	郵送方式（一部WEBフォームより回答）
依頼件数	1000世帯
回収数	444件（郵送300件、WEBフォーム144件）
回収率	44.4%

結果まとめ

・今回のアンケートの回答者は 444 名、回収率は 44.4% (令和 3 年度 45.0%、平成 30 年度 44.2%、平成 26 年度 51.0%、平成 22 年度 54.1%) と前回とほぼ同程度であり、多くの市民の協力を得ることができた。

・回答者の特徴としては、性別は女性が 41.7%、男性が 57.0%、無回答 1.3% となり、池田市の男女の人口比率に対して、男性の回答数が女性を上回った。一方で年齢は「50 歳代」以上の合計が 71.6% となり、若年層からの回答が少ない傾向となった。

・水道水の飲用方法について、「直接飲む」が 23.9%、「浄水器を通して飲む」が 37.4% となり、令和 3 年度調査時と比較して「直接飲む」割合が減り、「浄水器を通して飲む」が増える結果となった。また、水道水をそのまま飲まない理由としては「安全性が気になる」が 56.9% と多く、令和 3 年度調査時より水道水の安全性を気にする回答が減少した。

・下水道の役割について、最も知られていたのは「水洗トイレが使用できること」で 94.1% であった。また、「大雨による浸水から街を守ること」は 81.7% となり、令和 3 年度調査時と比較し認知度が高くなった。一方で、処理水や汚泥の活用については認知度が低い結果となった。

・災害時の飲料水の備蓄について、「している」と回答した割合は 59.7% であり、前回より増加する結果となった。いつ発生するかわからない災害への備えの意識が高まっていたと考えられる。また、断水対策については、「使用者自身が対策を行うが、上下水道部にも対策は求める」が 80.2% と最も多くなり、「使用者のみ対策する」6.1% と合わせると 86.3% となり、自助の意識の高さが増加傾向であった。

・水道料金、下水道使用料については、「やや高い」、「高い」と回答された方の合計は 23.9%、「やや安い」、「安い」と回答された方の合計は 9.7% であった。普通と回答した方 64.2% と最も多かったものの、安く感じる方よりは高く感じる方が多い結果となった。また、水道料金、下水道使用料の値上げ・値下げについては、「高くなってもよいので、老朽化施設の更新や災害対策を早急に進めてもらいたい」が 44.4% と「安くできるのであれば、老朽化施設の更新や災害対策を先延ばししても構わない」の 4.1% を大きく上回り、早急な施設更新を求める声が多いことが分かった。

・上下水道事業の情報源については、「広報いけだ」が57.4%と最も高く、次いで「水だより」が51.6%と高かった。若い世代の方がウェブページやSNSから情報を収集する人の割合が増えることが分かった。

また、上下水道部広報紙「水だより」を「いつも読んでいる」が20.0%、「読んだことがある」が49.1%、その合計が69.1%となり、令和3年度調査時と比較して読んでいる方の割合が少なくなった。

【総括】

今回、水道事業と下水道事業との組織統合後5回目となるアンケート調査を行い、市民の意見を伺った。今回のアンケートでは、水道の安全性や安定性への期待が以前よりも高まっており、施設更新や災害時の対策が求められていることが分かった。一方で上下水道部広報紙「水だより」の読者の割合の減少やイベントの認知度の低下から、災害から時間が経ち、あつて当たり前水道・下水道になると興味を失い、情報を得ようとする意識の低下がみられた。幅広く、すべての市民に認知される広報のあり方について検討していく必要がある。その他の事項についても、今後の上下水道事業運営方針の一助とし、市民の意見を取り入れた上下水道事業をめざしたい。

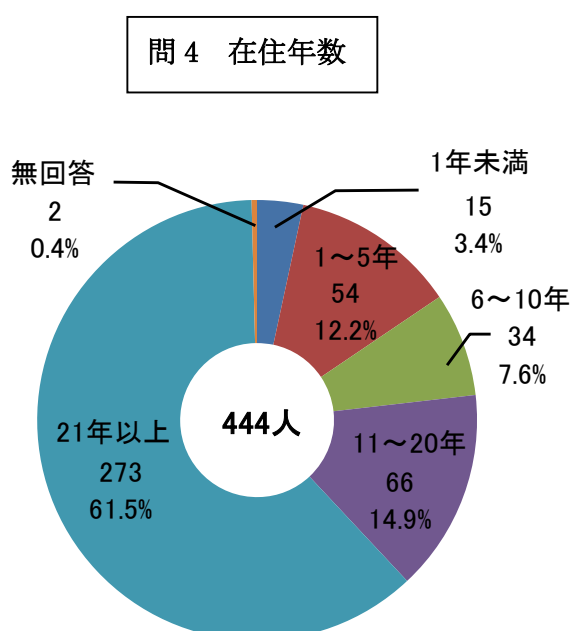
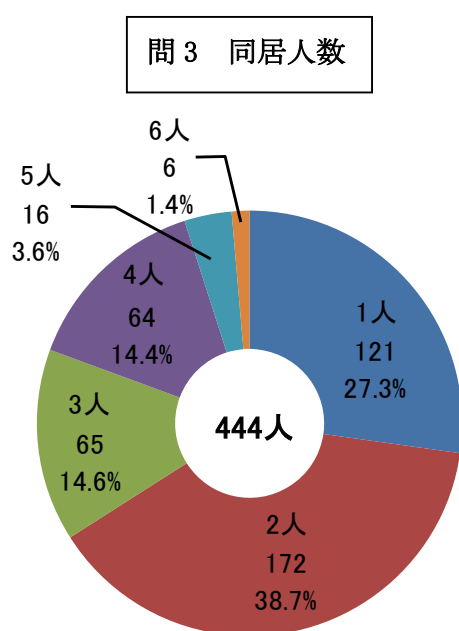
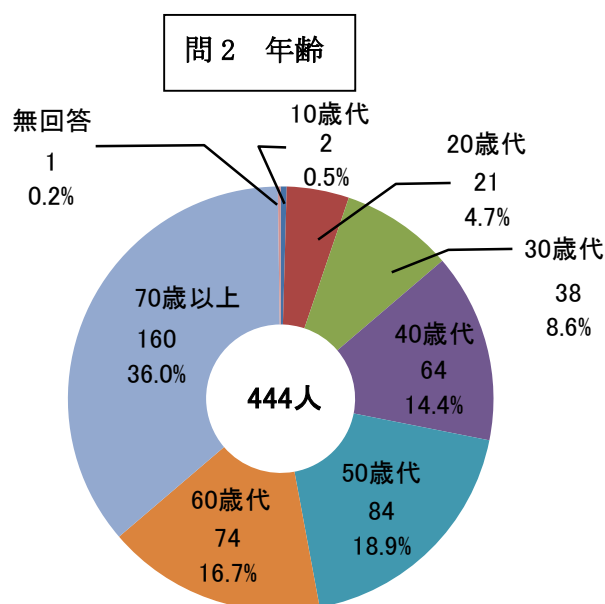
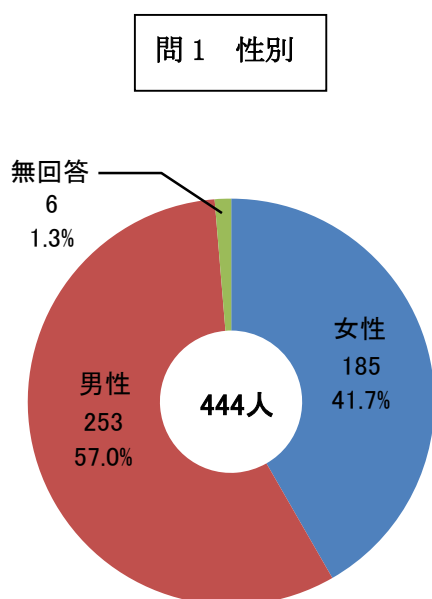
回答者基本属性

性別は、女性が41.7%、男性が57.0%、無回答1.3%となり、池田市の男女の人口比率（女性52.5%、男性47.5%（R8.1時点））に対して、男性の回答数が女性を上回った。

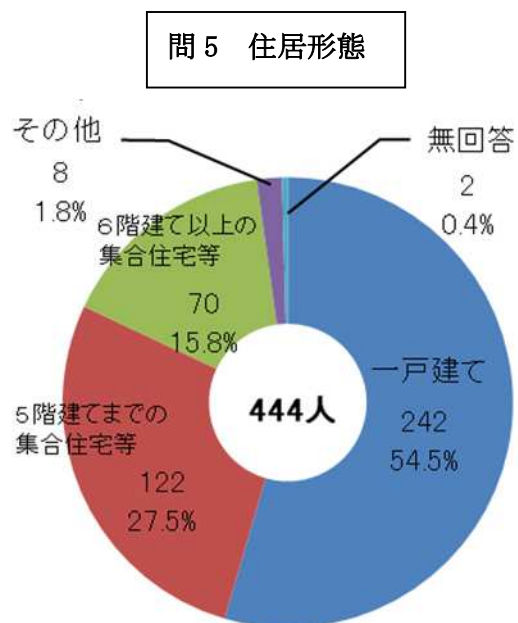
年齢は「70歳以上」が36.0%と最も多く、次に「50歳代」が18.9%を占め、「60歳代」、「40歳代」、「30歳代」と続いた。「50歳代」以上の合計が71.6%となり、若年層からの回答が少ない傾向となった。

同居人数は、「2人」が38.7%と最も多く、「1人」が27.3%、「3人」が14.6%、「4人」が14.4%と続いた。

池田市の在住年数は、「21年以上」が61.5%を占めた。



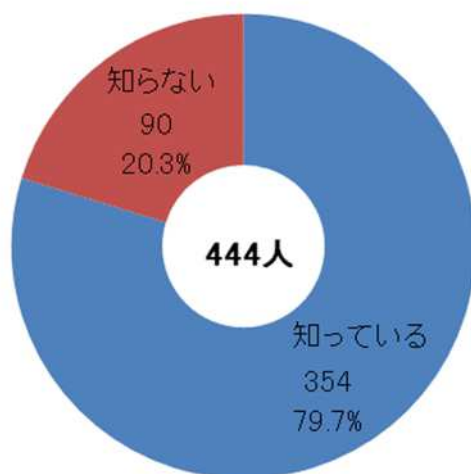
住居形態については、「一戸建て」が 54.5%と多かった。次いで、「5 階建てまでの集合住宅等」が 27.5%、「6 階建て以上の集合住宅等」が 15.8%となった。



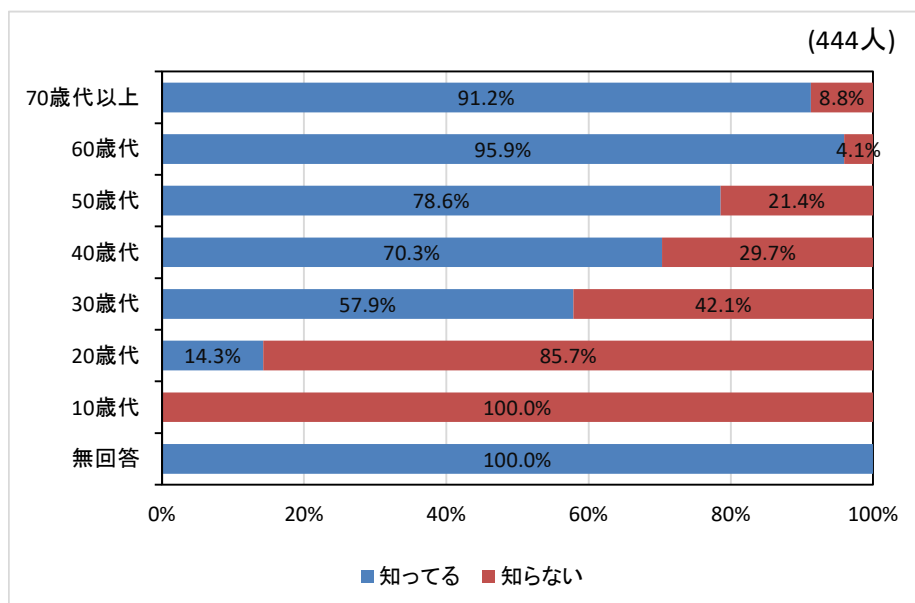
水源について

池田市の水源地が猪名川・余野川であることを79.7%（R3調査時：80.4%）が認識しており、その水源地の汚れについては66.9%（R3調査時：67.3%）が「関心がある」という結果となったが、それぞれ令和3年の調査時と比較し割合が低くなる結果となった。また、大阪広域水道企業団からの受水については、「知っている」が32.2%となり、令和3年調査時の22.9%から大きく割合が増える結果となった。なお、年齢別では若い世代ほど認知度が低下する傾向となった。

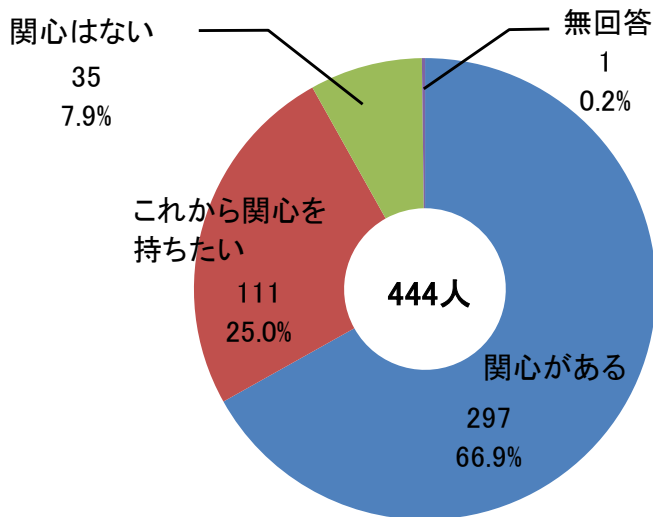
問6 池田市の水源地は猪名川（一庫ダム）・余野川であることをご存知ですか。



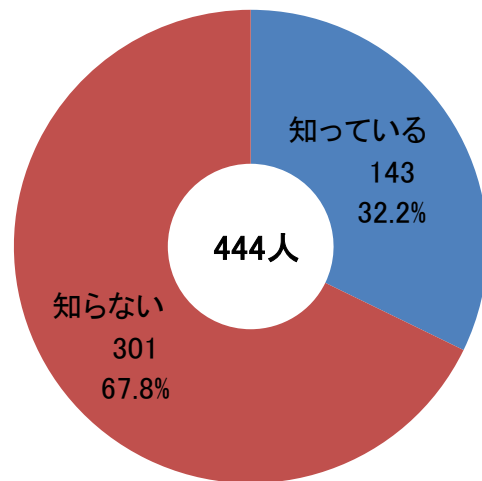
◆ 年齢別



問 7 水源である猪名川・余野川の汚れに関心がありますか。

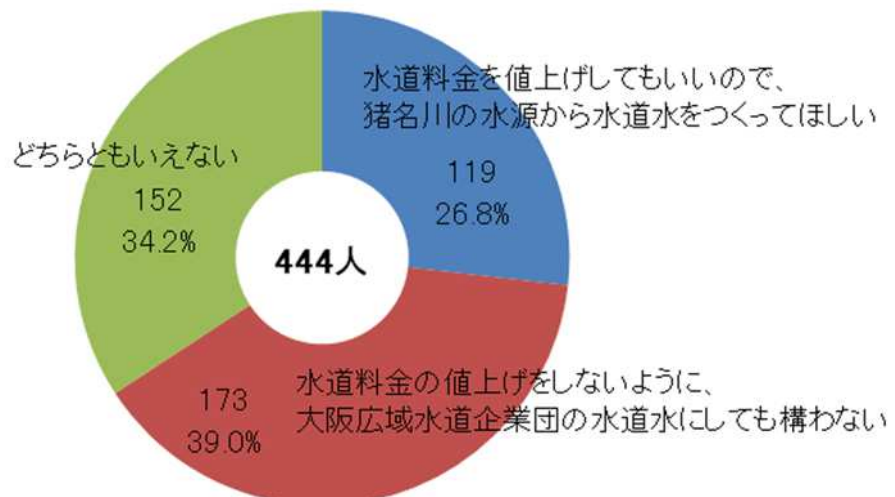


問 8 大阪広域水道企業団から受水していることをご存知ですか。



また、将来的な猪名川水源の確保については、「猪名川の水源から水道水をつくってほしい」が 26.8%となり、「大阪広域企業団の水道水にしても構わない」の 39.0%よりも少ない結果となった。

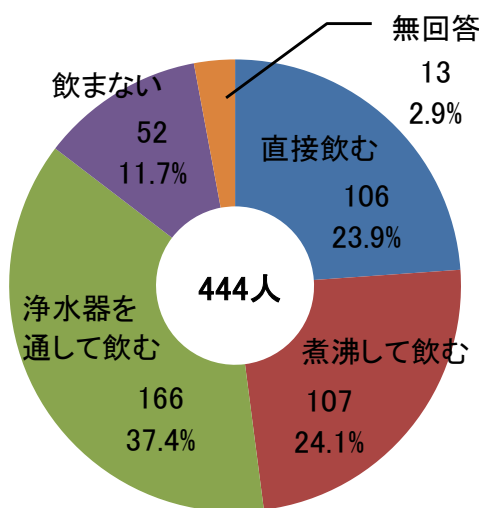
問 9 将来的に猪名川の水源を保有し続けるためには古江浄水場の更新など多額の費用がかかることから、その財源として水道料金の値上げが必要である場合、その対策として大阪広域水道企業団（水源が淀川）から100%受水することも考えられます。これについて、どう思われますか。



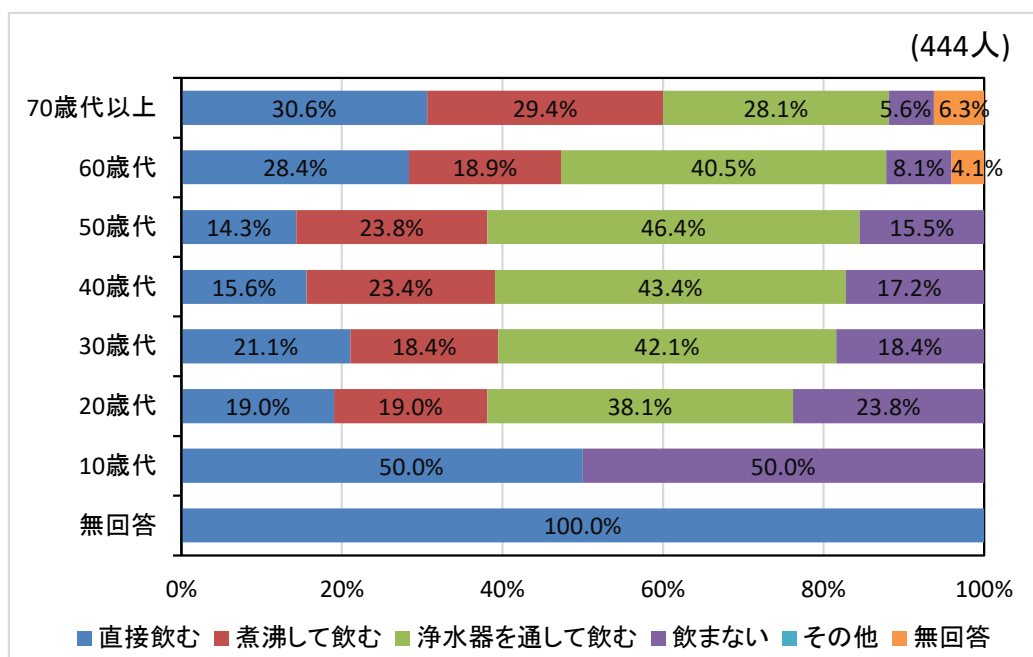
水道水の安全性

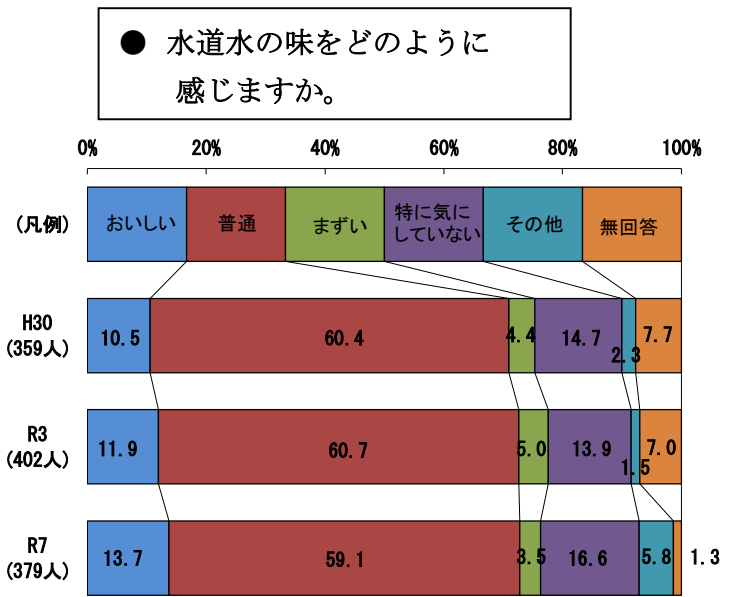
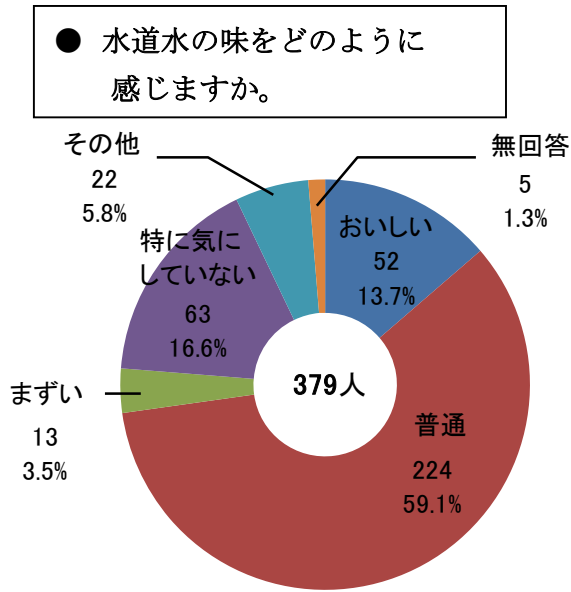
水道水の飲用方法は「直接飲む」が23.9%（R3調査時：32.6%）が令和3年調査時と比較して大幅に減り、「浄水器を通して飲む」が37.4%（R3調査時：29.3%）と大幅に増加する結果となった。また、水道水を飲む人の内、水道水の味については、「おいしい」が13.7%（R3調査時：11.9%）と令和3年調査時と比較しやや増加も、「普通」が59.1%（R3調査時：60.7%）と大きな変化はなかった。なお、年齢別では、50歳代が「直接飲む」の割合が最も少ない結果となった。

問10 水道水をどのようにして飲みますか。

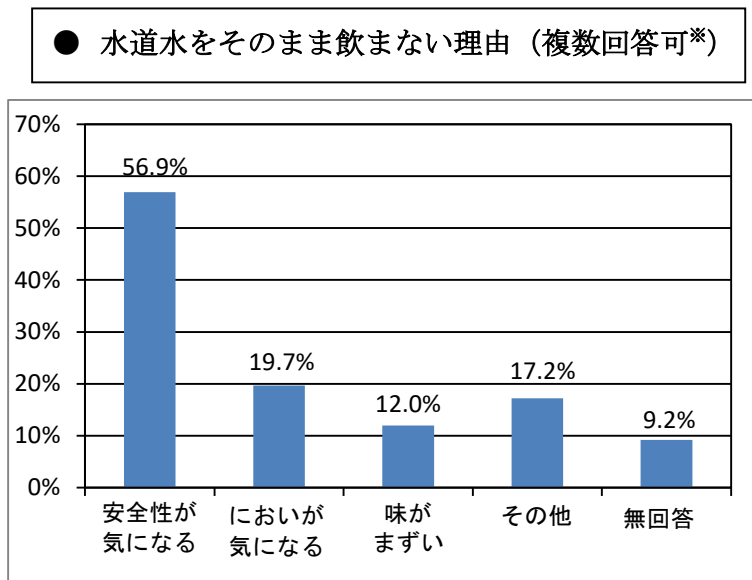


◆ 年齢別





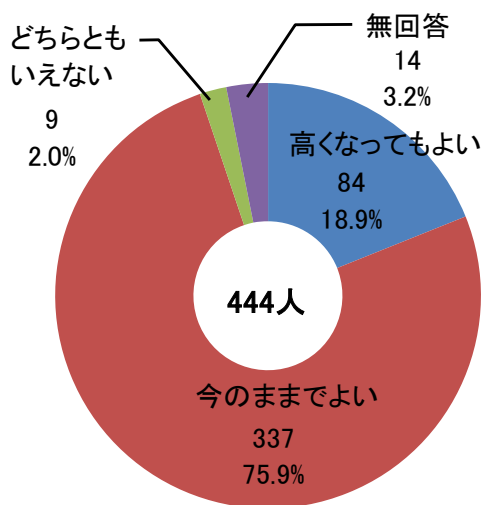
水道水をそのまま飲まない理由としては「安全性が気になる」が56.9%（R3調査時：62.2%）と過半数であった。令和3年調査時より水道水のおいしが19.7%（R3調査時17.1%）や味12.0%（R3調査時10.7%）を気にする回答が増加する結果となった。



※複数回答のため、合計が100%を超えています。

水質改善によって水道料金が高くなることについて、「今のままでよい」が75.9%（R3調査時64.4%）と令和3年調査時と比較し増加した。一方、「高くなってもよい」が18.9%（R3調査時16.7%）とやや増加する結果となり、「どちらともいえない」が2.0%（R3調査時17.3%）と大幅に減少する結果となった。

問11 現在の水道の水質をさらに良くした場合、料金が高くなる可能性があります。それをどのように思いますか。

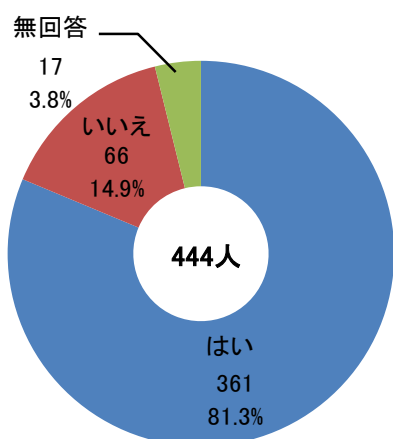


水道水の使用状況

毎日入浴する方は 81.3% で、毎日入浴しない方は 14.9% となった。また、週平均頻度は 6.48 回（R3 調査時：6.49 回）であった。

毎回湯船にお湯を溜める方は 57.4%（R3 調査時：54.2%）で増加する結果となり、「いいえ（シャワーのみ）」は 15.1%（R3 調査時：15.1%）と前回と同じ結果であった。また、ときどきの方の週平均頻度は 2.81 回（R3 調査時：2.53 回）であった。

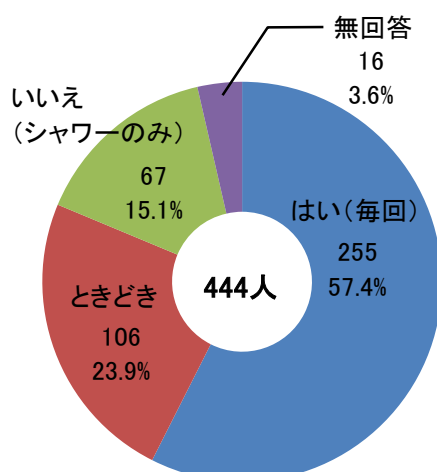
問 12 お風呂（シャワーを含む）は毎日入りますか。



毎日入らない方の入浴頻度 (66 人)

	人数	%
週に 1 回	4 人	6.1%
週に 2 回	7 人	10.6%
週に 3 回	20 人	30.3%
週に 4 回	22 人	33.3%
週に 5 回	6 人	9.1%
週に 6 回	7 人	10.6%
無回答	0 人	0.0%

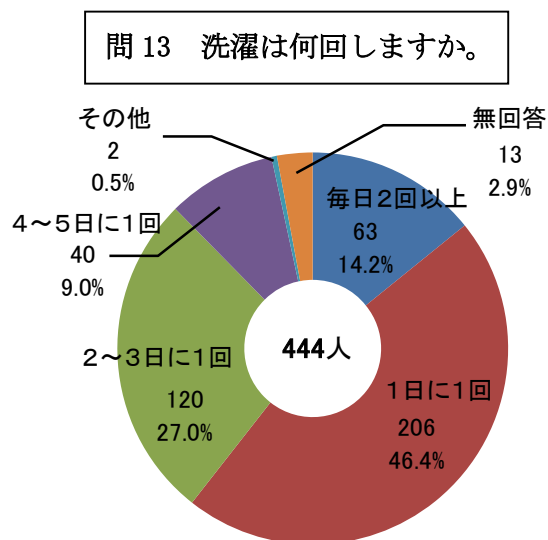
● 湯船にお湯は溜めていますか。



ときどきの方の頻度 (106 人)

	人数	%
週に 1 回	20 人	18.9%
週に 2 回	23 人	21.7%
週に 3 回	32 人	30.2%
週に 4 回	22 人	20.7%
週に 5 回	6 人	5.7%
週に 6 回	3 人	2.8%
無回答	0 人	0.0%

洗濯回数は、「毎日1回」が46.4%（R3調査時：51.5%）と約半数を占め、減少傾向にあった。次に「2～3日に1回」が27.0%と多かった。

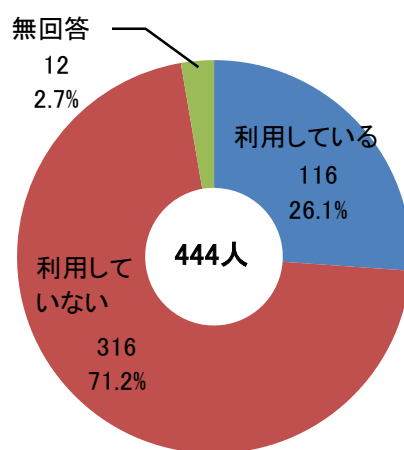


毎日2回以上の方の頻度(63人)

	人数	%
2回	28人	44.4%
3回	12人	19.1%
4回	1人	1.6%
5回	0人	0.0%
6回	0人	0.0%
7回	0人	0.0%
無回答	22人	34.9%

食洗器の利用は、「利用している」が26.1%となった。

問14 食器洗いの際に食洗器は利用していますか。

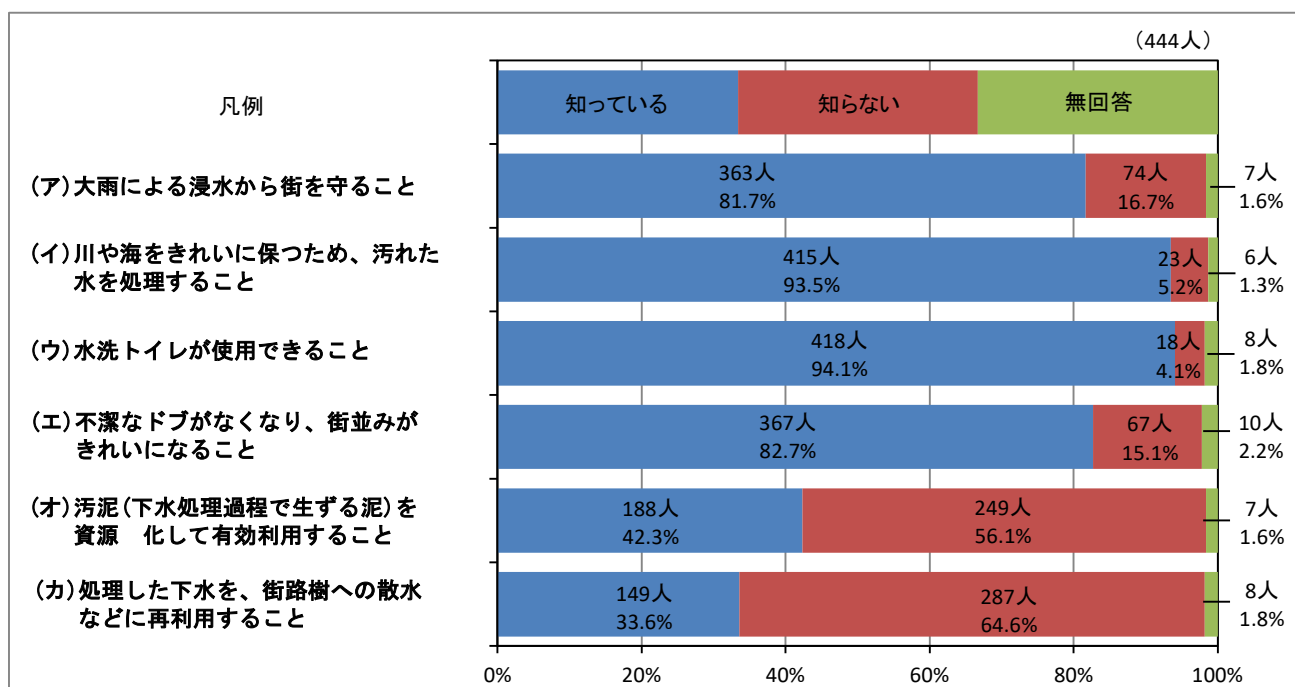


下水道の役割やしぐみ

下水道の役割として最も知られていたのは「水洗トイレが使用できること」で94.1%（R3 調査時：94.0%）であった。生活に身近なところでの下水道の役割は理解されているようである。また、「大雨による浸水から街を守ること」は81.7%（R3 調査時：78.7%）となり、令和3年調査時と比較し認知度が高くなった。

一方、「汚泥を資源化して有効活用すること」の認知度は42.3%（R3 調査時：41.8%）、
「処理した下水を、街路樹への散水などに再利用すること」の認知度は33.6%（R3 調査時：43.5%）と大きな変化はなかった。下水から高度処理されて処理水となる工程や再利用状況を市民の方々に伝えていく必要がある。

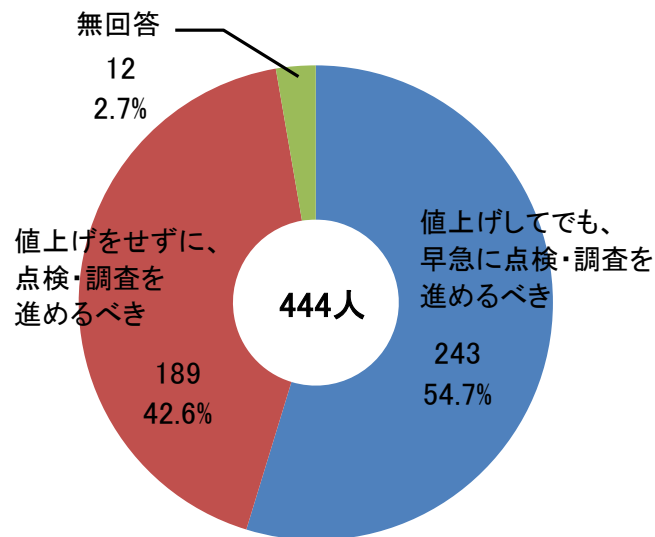
問 15 あなたは次のような下水道の役割やしぐみをご存知ですか。



また、令和7年1月に発生した埼玉県八潮市の下水道管の老朽化による道路陥没など、下水道管の老朽化対策に取り組んでいく重要性が高まっている。池田市でも道路陥没を未然に防ぐため、下水道管の点検・調査を計画的に実施している。

このようななか、「値上げしてでも、早急に点検・調査を進めるべき」が54.7%と「値上げをせずに、点検・調査を進めるべき」の42.6%を上回る結果となった。

問 16 下水道管の点検・調査を進めていくためには、下水道使用料を値上げする可能性もあります。このことについて、どのように思われますか。

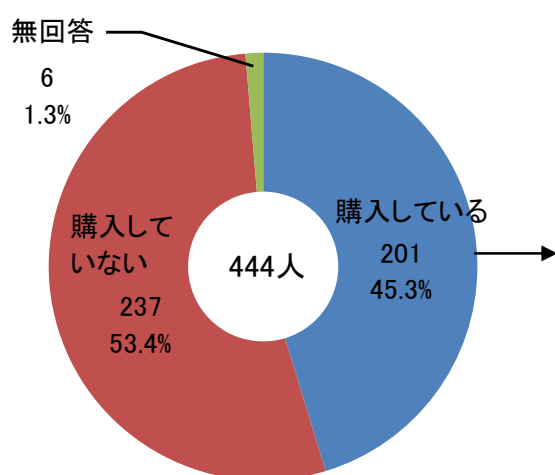


災害対策

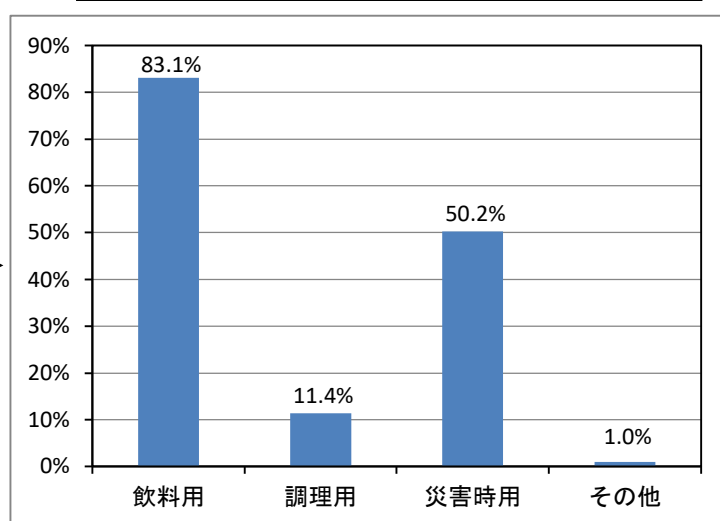
ボトルウォーターを「購入している」と回答した割合は45.3%（R3 調査時：47.6%、H30 調査時 52.5%、H26 調査時：60.2%）と年々減少している。ボトルウォーターを買っている方は、「飲料用」として利用している方が83.1%（R3 調査時：82.7%）と大多数であった。次に「災害時用」が50.2%（H30 調査時：43.5%）と多かった。

1ヶ月の購入量は「～5L」が28.6%と最も多かったが、他の選択肢と大きな差はなく、各家庭によってそれぞれという結果となった。

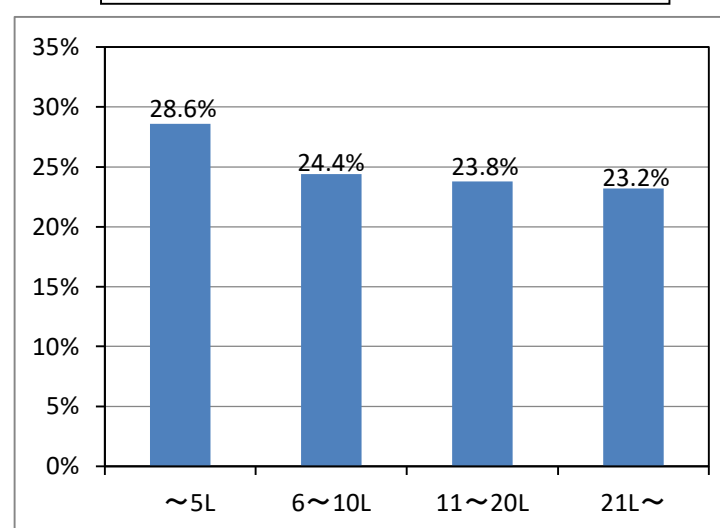
問 17 ボトルウォーター（ミネラルウォーター）を購入されていますか。



● どのような目的で購入されていますか。
（複数回答可）



● 1ヶ月の購入量はどれくらいですか。



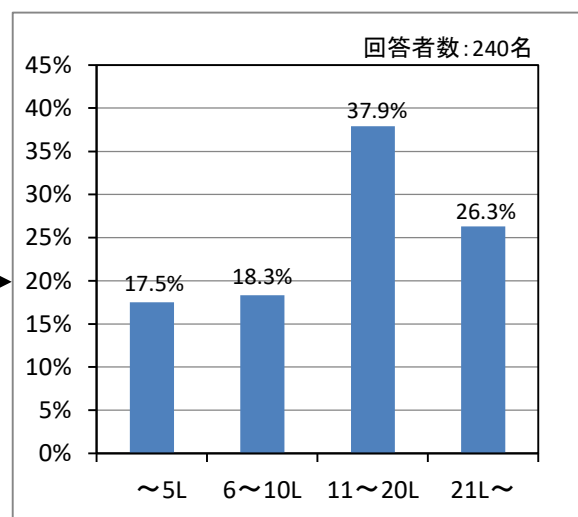
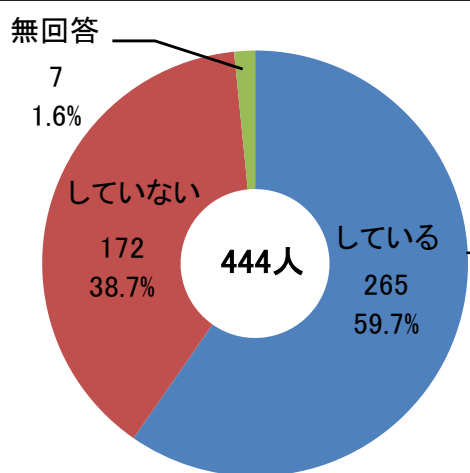
災害時の飲料水の備蓄を「している」と回答した割合は59.7%（R3 調査時：52.2%）であり、増加していた。1ヶ月の量は「11～20L」が37.9%と最も多く、次に「21L～」が26.3%であった。

お風呂に水をためている（「常時ためている」・「たまにためている」）割合は30.4%（R3 調査時：38.9%、H30 調査時：50.9%）と減少傾向であった。令和3年調査時と比較して災害への備えについては、ボトルウォーターで購入する意識が高くなりつつあると考えられる。

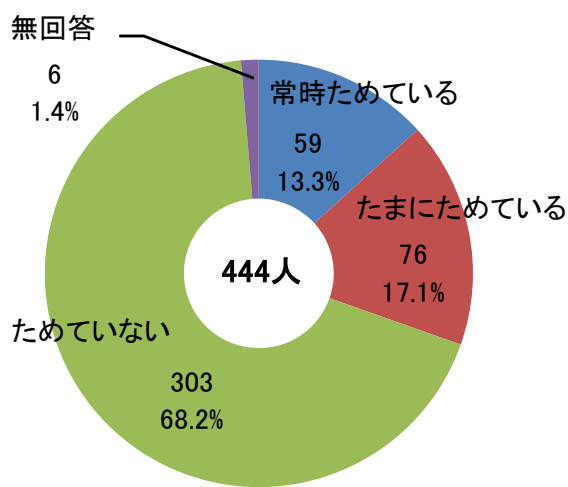
その他の災害への備えとしては、非常食や防災グッズの常備を行っているという回答が多く見られた。

問 18 あなたは災害時に備えて飲料水のくみ置きやボトルウォーターの買い置きをしていますか。

● 1ヶ月の量はどれくらいですか。

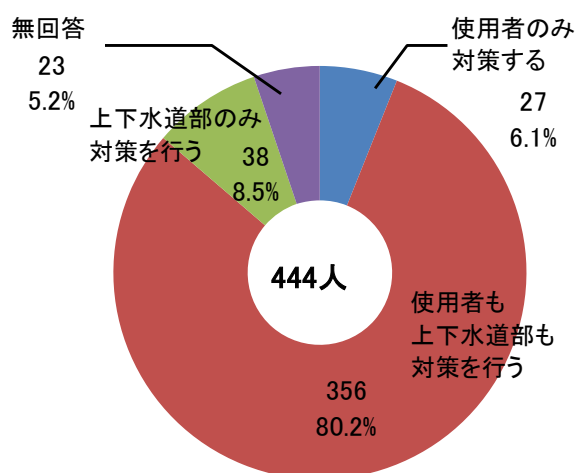


● お風呂に水をためていますか。



断水対策については、「使用者自身が対策を行うが、上下水道部にも対策は求める」が80.2%（R3調査時：74.2%）と最も多くなり、上下水道部の対策だけでなく使用者自身も断水に備えるといった意識が多くあることが分かった。一方、「使用者自身は対策を行わず、上下水道部に対策を求める」も8.5%（R3調査時：15.4%）であり、断水対策は上下水道部にゆだねるといった声は減少する結果であった。

問19 地震や停電により水道水が使用できなくなる（断水する）ことがあります。上下水道部が積極的に断水対策を実施すると、応急給水が充実するメリットがありますが、その分コストが増大するデメリットがあります。断水対策について、どのようにお考えですか。

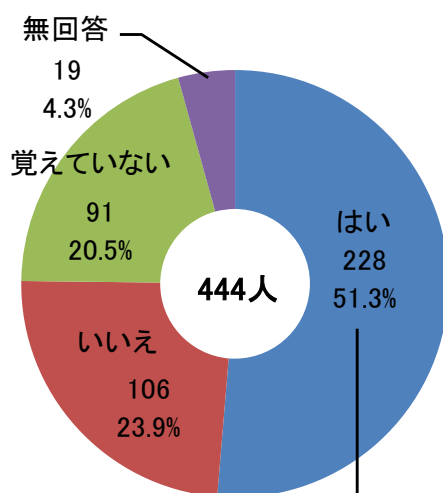


漏水・浸水について

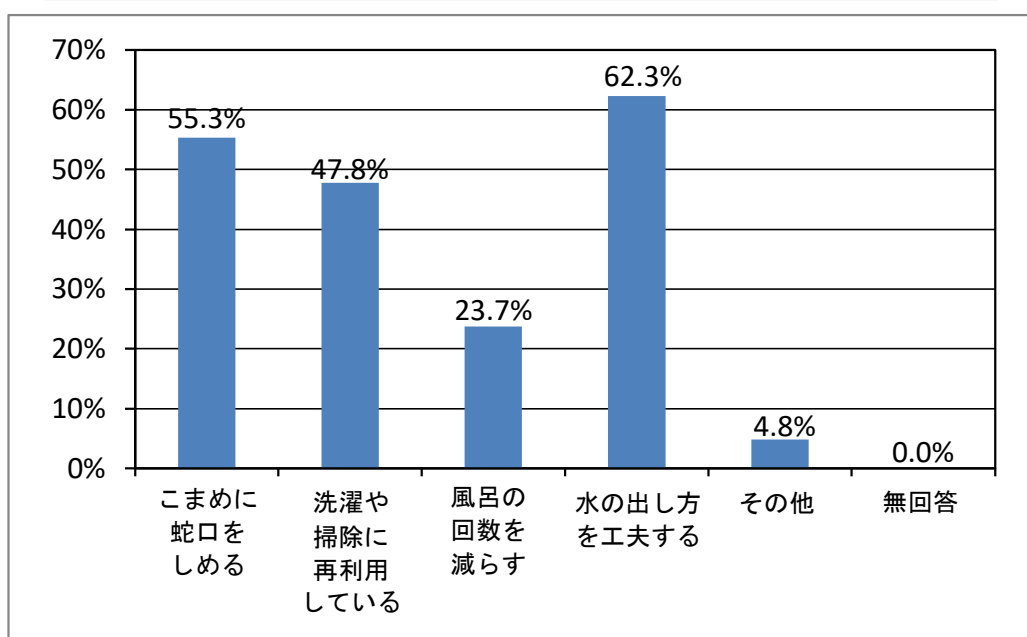
漏水を知ったときの節水については 51.3%（R3 調査時：51.1%）の方が何らかの対策を行っていた。漏水時の節水意識については前回と同じ結果であった。

漏水時の節水方法としては、「水の出し方を工夫する」が 62.3%と最も多く、「こまめに蛇口をしめる」が 55.3%、「お風呂の残り湯を洗濯や掃除に再利用している」が 47.8%となった。

問 20 これまで新聞やテレビ、広報誌などで漏水を知ったとき、何らかの節水を行いましたか。



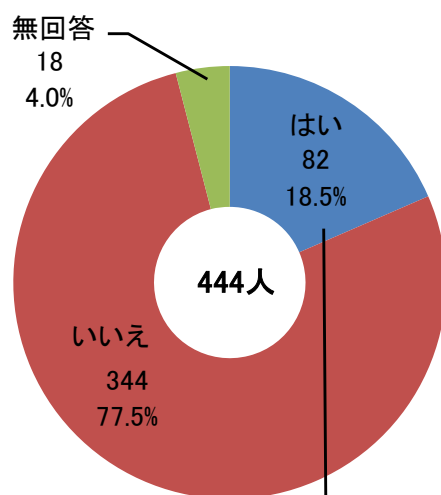
●「はい」とお答えになった方で、どのようにして節水していますか。
(複数回答可)



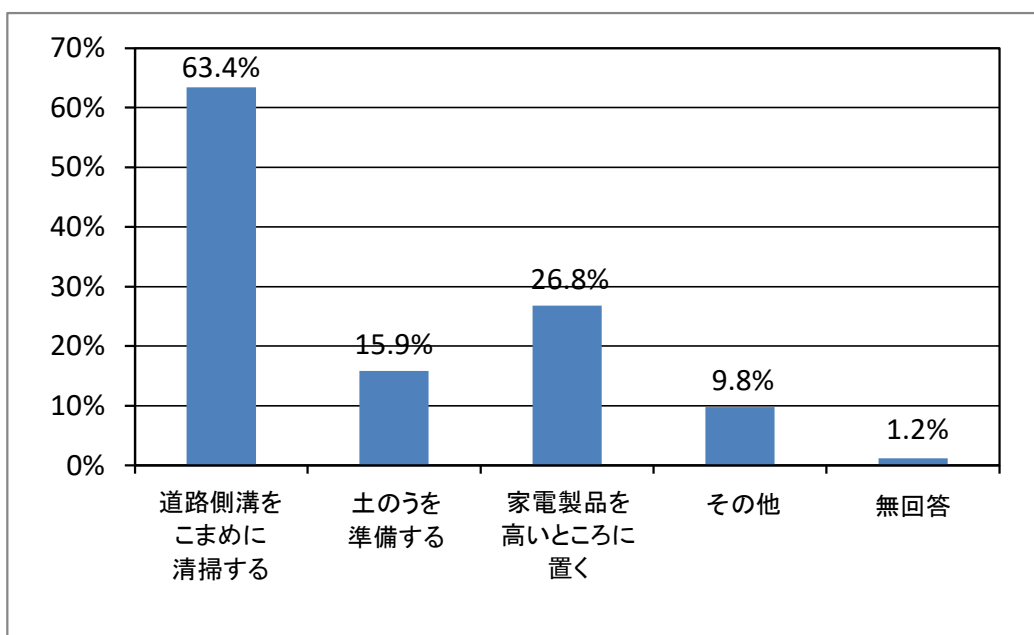
浸水時の対策として 18.5% (R3 調査時：18.4%) の方が何らかの準備をするよう心掛けていた。池田市内では、浸水の恐れがある地域が限られているため、浸水の恐れがある地域に住んでいる方に限定すると割合は高くなると推測される。

浸水対策として実施していることとしては、「道路側溝をこまめに清掃する」が 63.4% と大半を占め、「家電製品を高いところに置く」が 26.8% と続く。

問 21 ここ数年、局地的な豪雨が頻発していますが、浸水時の対策として何らかの準備をするよう心掛けていますか。



● 「はい」とお答えになった方で、どのような対策をしていますか。
(複数回答可)

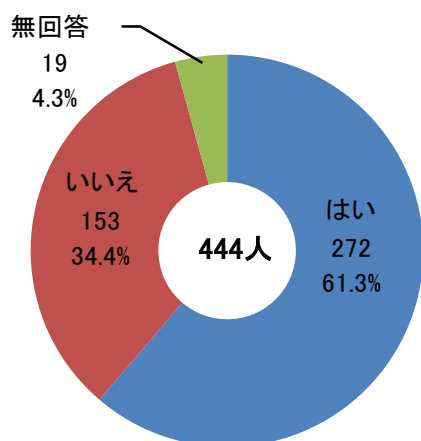


水道料金・下水道使用料

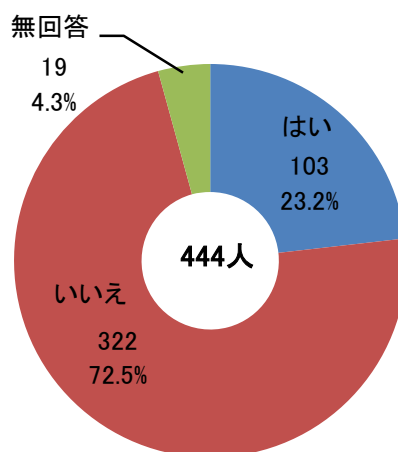
水道料金のしくみについて独立採算制であることを認識している方は 61.3% (R3 調査時：63.3%) となり、令和 3 年度調査時と比較し減少した。

下水道使用料のしくみについて「知っている」のは 23.2% (R3 調査時：20.9%) で、水道料金と比べてかなり低い結果となった。雨水は税金で、汚水は下水道使用料といった区別があるため、複雑で理解しがたいものと推察される。独立採算制についての認識を高めるための広報の仕方に工夫が必要である。

問 22 水道事業は税金ではなく、水道料金で運営していることをご存知ですか。



問 23 雨水を排除する費用は公費(税金)が あてられ、汚水処理費には下水道使用料が あてられることをご存知ですか。

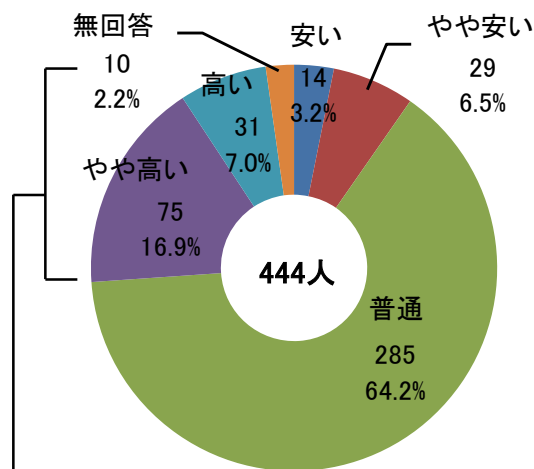


水道料金について、「普通」という意見が 64.2% (R3 調査時：63.3%、H30 調査時：60.9%) で最も多かった。「やや高い」、「高い」と回答された方の合計は 23.9% (R3 調査時：26.3%、H30 調査時：30.8%) と減少傾向であった。また、「やや安い」、「安い」と回答された方の合計は 9.7% (R3 調査時：8.4%、H30 調査時：7.4%) とやや増加傾向であった。普通と回答した方が最も多かったものの、安く感じる方よりは高く感じる方が多い結果となった。

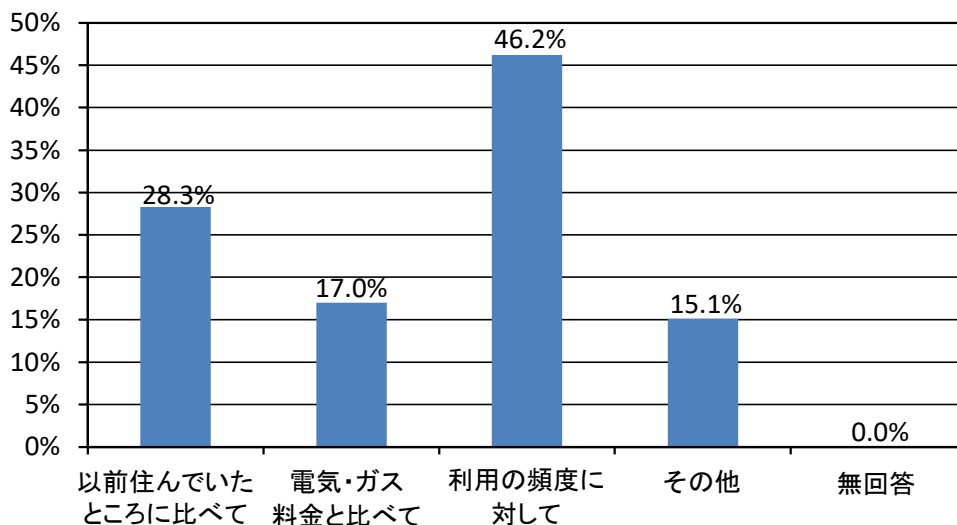
水道料金が「やや高い」、「高い」の方にそう感じる理由を聞いたところ、「利用の頻度に対して」、「以前住んでいた場所と比べて」と回答した方が多かった。

なお、年齢による大きな傾向の違いは見られなかった。

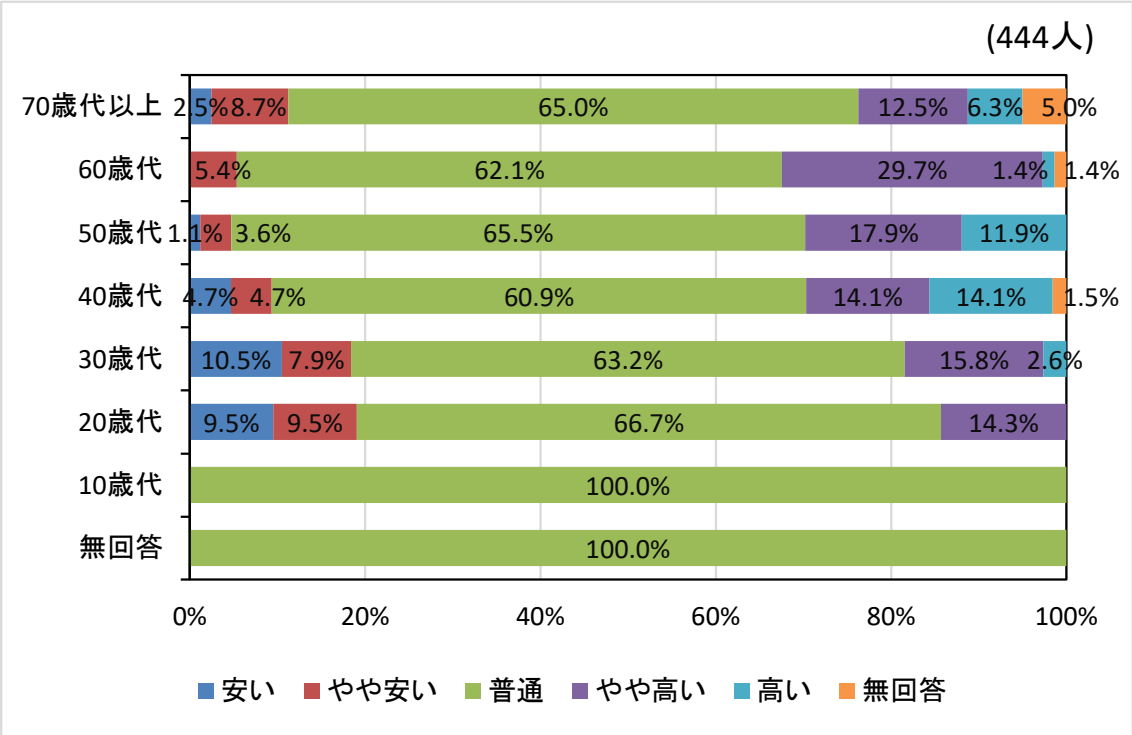
問24 水道料金についてどのように感じられておられますか。



●「やや高い」、「高い」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

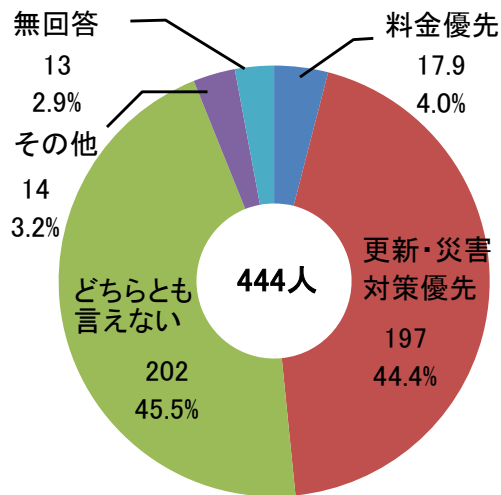


◆ 年齢別

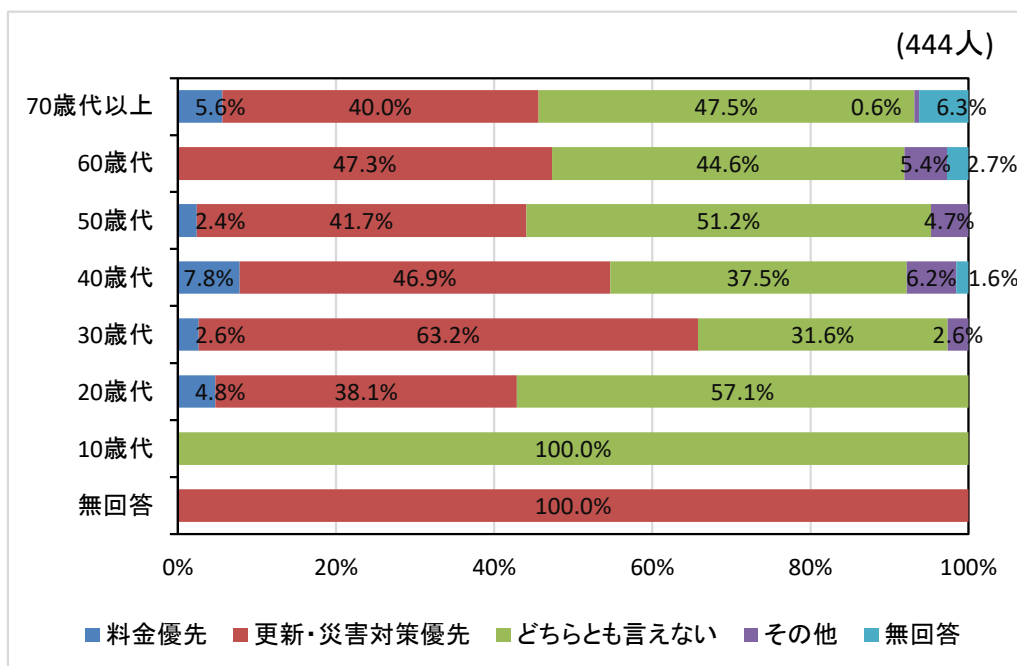


水道料金、下水道使用料の値上げ・値下げについては、「高くなってもよいので、老朽化施設の更新や災害対策を早急に進めてもらいたい」が 44.4% (R3 調査時: 38.4%) と「安くできるのであれば、老朽化施設の更新や災害対策を先延ばししても構わない」の 4.0% (R3 調査時: 5.6%) を大きく上回る結果となった。しかしながら、「どちらとも言えない」が 45.5% と半数近くを占め、多くの方にとって判断しがたい点であると分かった。なお、年齢別では、30 歳代、40 歳代、60 歳代で「高くなってもよいので、老朽化施設の更新や災害対策を早急に進めてもらいたい」が「どちらとも言えない」を上回る傾向となっており、災害対策や老朽化対策への意識が高まってきていると考えられる。

問 25 水道料金、下水道使用料の値上げ・値下げについてどのように考えていますか。



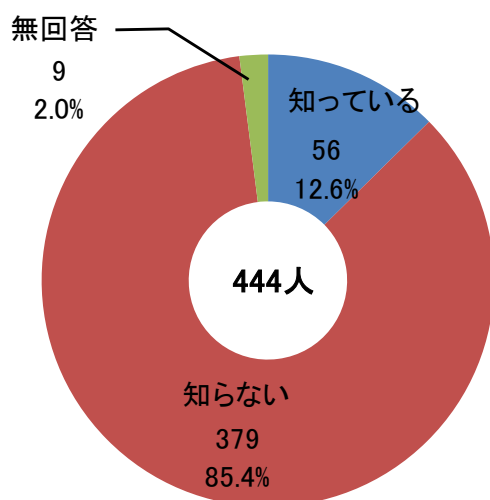
◆ 年齢別



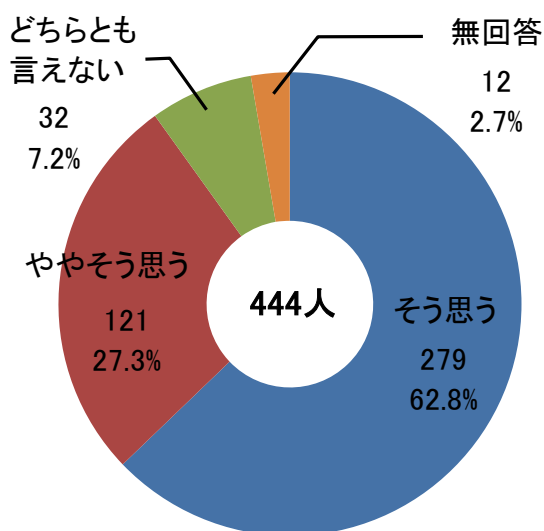
水道料金・下水道使用料による収入が年々減少していることについては、「知らない」が85.4%と「知っている」の12.6%を大幅に上回る結果となった。水道事業・下水道事業の経営状況についての認識を高めるための広報の仕方に工夫が必要である。

しかしながら、収入に直結する人口減少の課題については、「そう思う」、「ややそう思う」が90.1%と危機感の共有はできていると考えられる。

問 26 水道事業・下水道事業は水道料金・下水道使用料で運営していますが、池田市では水道料金・下水道使用料による収入が年々減少傾向であることをご存知ですか。



問 27 今後、現在よりも人口が減少していく中で水道事業・下水道事業を支えていく必要がありますが、それは重要な問題だと思いますか。

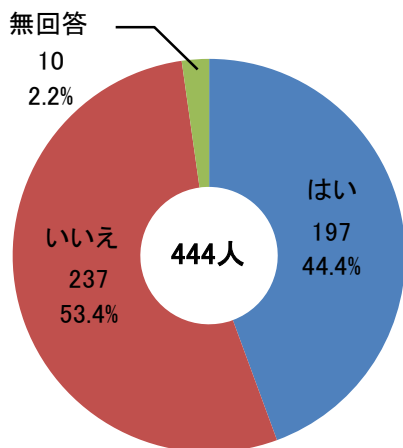


民間委託について

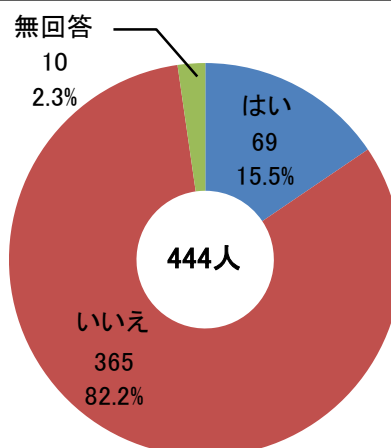
水道メータの検針業務を委託していることを「知らない」と回答した割合は 53.4% (R3 調査時：50.0%) となり半数以上が知らないという結果となった。なお、また、夜間や休日の業務委託については、「知らない」が 82.2% (R3 調査時：81.8%) とほとんど知られていないことが分かった。

水道事業・下水道事業を全面的に委託するべきかについては、水道事業・下水道事業とも「公営を守ってほしい」がそれぞれ 39.2% (R3 調査時 43.1% (水道)、41.1% (下水道)) となり、「委託した方が良い」の 5.9% を大きく上回った。また、「水道、下水道を使用する市民のためになるのであれば、様々な運営方法を検討するのは構わない」が 39.4% (R3 調査時：37.6%) とやや増加する結果となった。

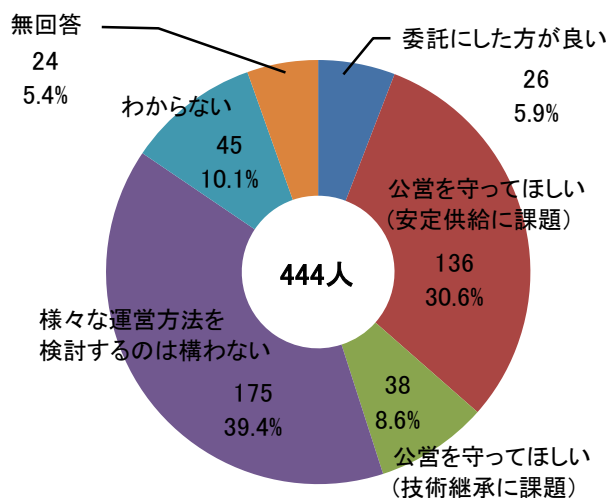
問 28 水道メータの検針を上下水道部の職員が実施せず民間に委託していることをご存知ですか。



問 29 夜間や休日の業務を上下水道部の職員が実施せず民間に委託していることをご存知ですか。



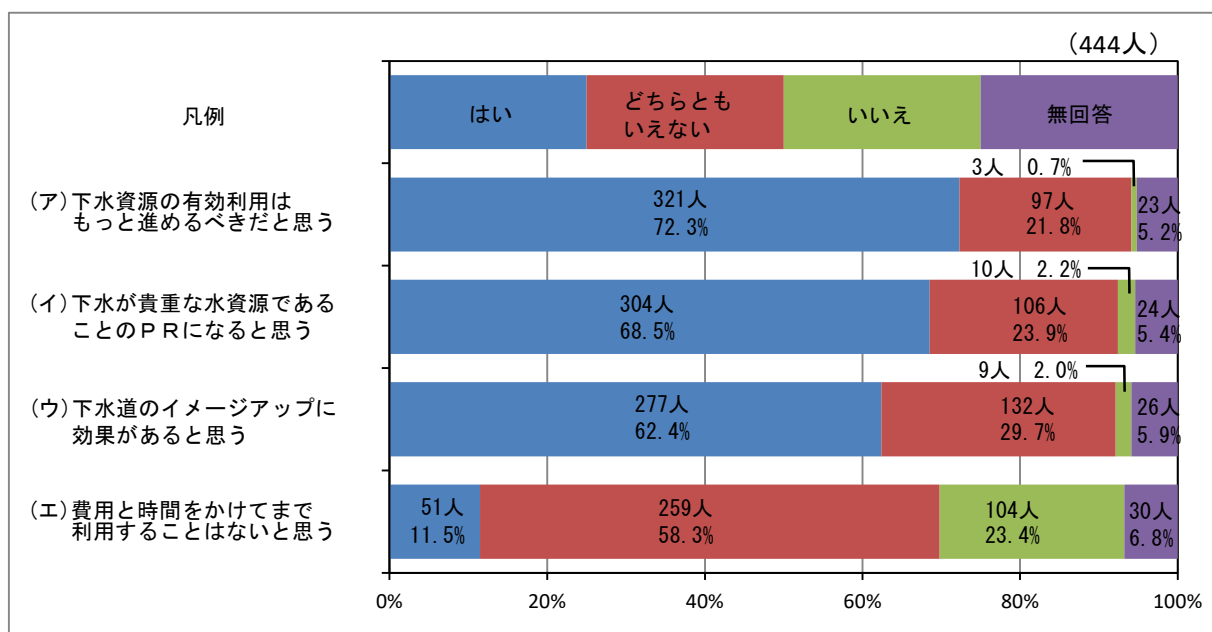
問 30 水道事業・下水道事業を全面的に民間に委託するべきだと思いますか。



資源の有効利用について

下水の処理水の有効活用する取組みについては、「下水資源の有効利用はもっと進めるべき」が 72.3% (R3 調査時：77.3%) と最も多く、次に「下水が貴重な水資源であることのPR となると思う」が 68.5% (R3 調査時：72.4%) を占めた。また、「下水道のイメージアップに効果があると思う」が 62.4% (R3 調査時：68.7%) を占め、全体的に令和3年度調査時と比較して、下水道資源の有効活用に関する市民の方々の意識が低くなっていることがわかった。

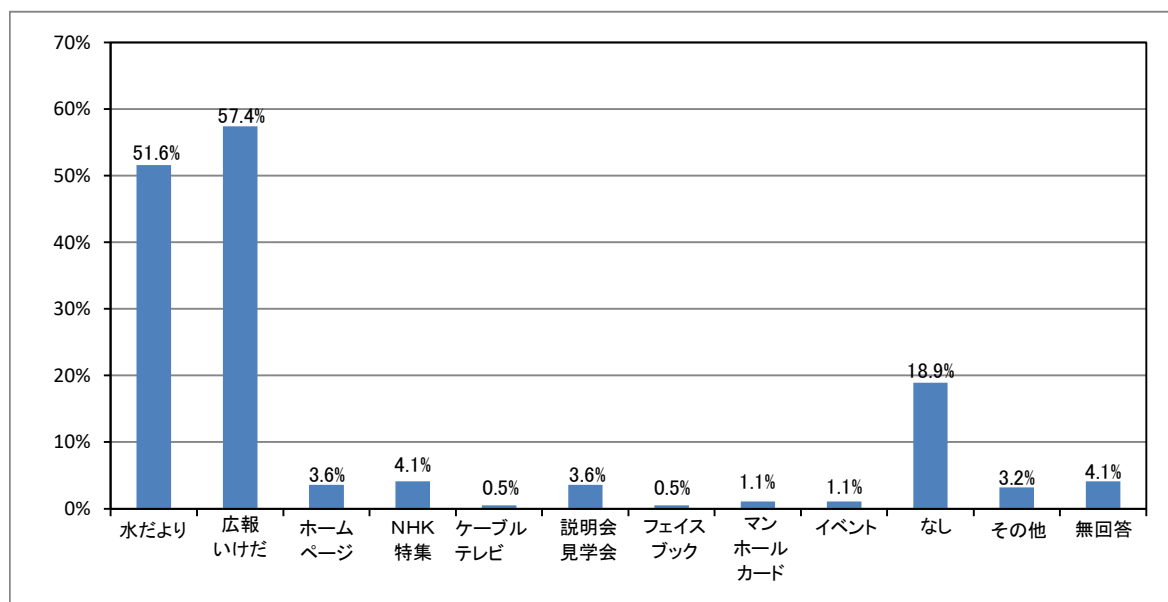
問 31 下水は、修景用水（公園の噴水など都市の景観を美しく保つために利用する水）として利用したり、汚泥を建設資材として活用したりしています。このような取組みについてどう思いますか。



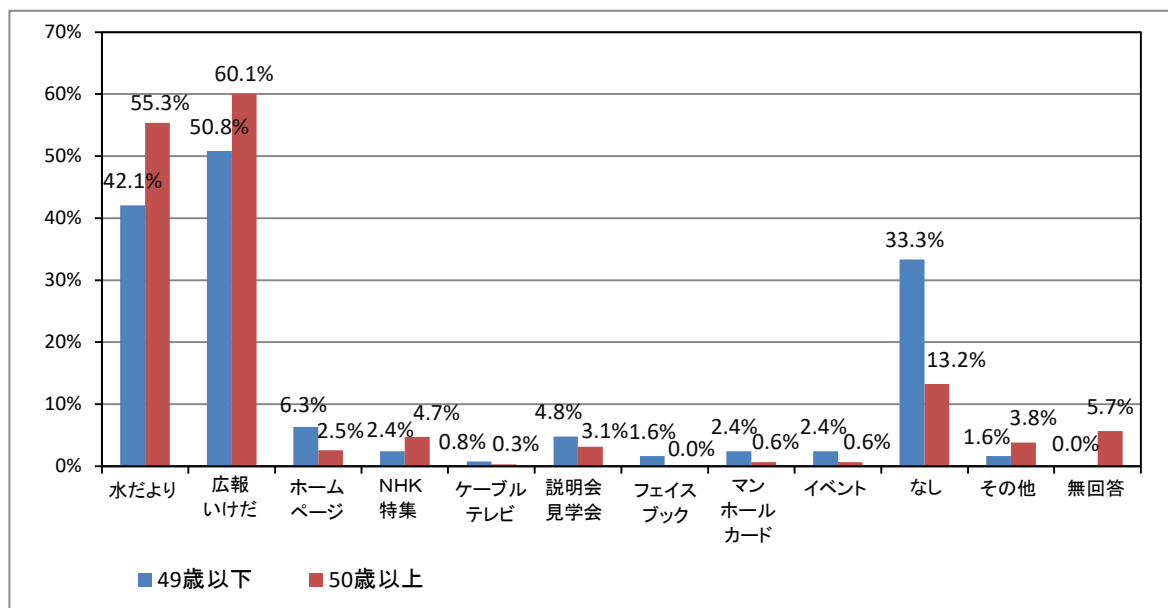
広報・PRについて

上下水道事業の情報源については、「広報いけだ」が57.4%(R3調査時:67.1%)と最も高く、次いで「水だより」が51.6%(R3調査時:50.4%)と高かった。その他の情報源については、どれも極端に低い結果となった。「ホームページ」は、3.6%(R3調査時:6.0%)と令和3年調査時と比較して減少した。また、「フェイスブック」は0.5%(R3調査時:0.2%)とこれまでと同様に低くなっており、令和8年2月よりSNSによる情報発信をX(旧Twitter)に変更し、今後の情報発信の充実を図る。なお、年齢別では、49歳以下は「なし」が多く、情報収集をしていない人の割合が増加傾向となった。

問 32 池田市の上下水道に関する情報を今までどのような手段で収集されましたか。(複数回答可)

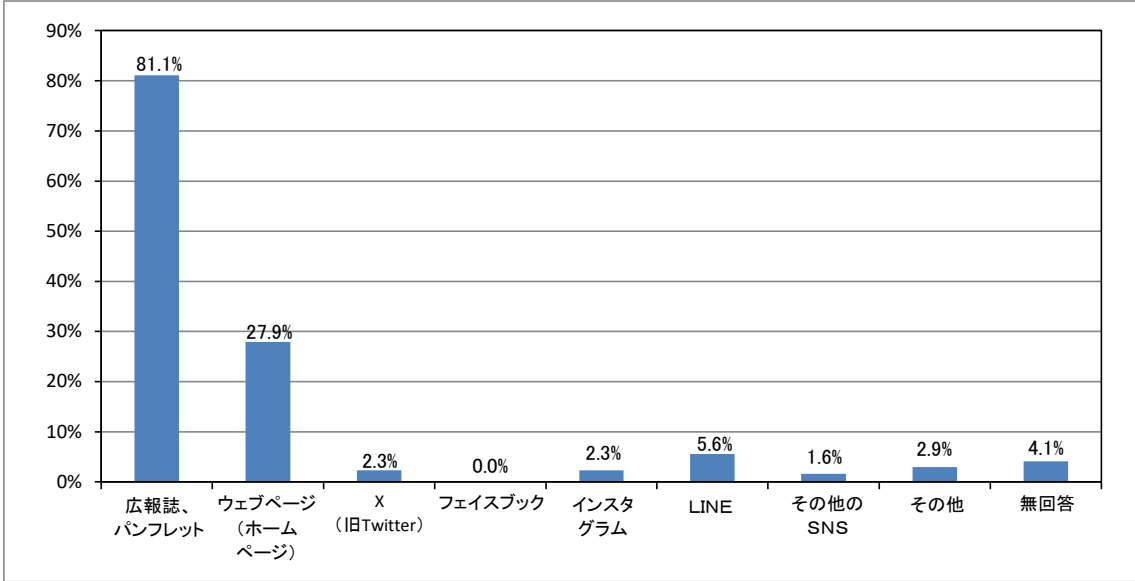


◆ 年齢別

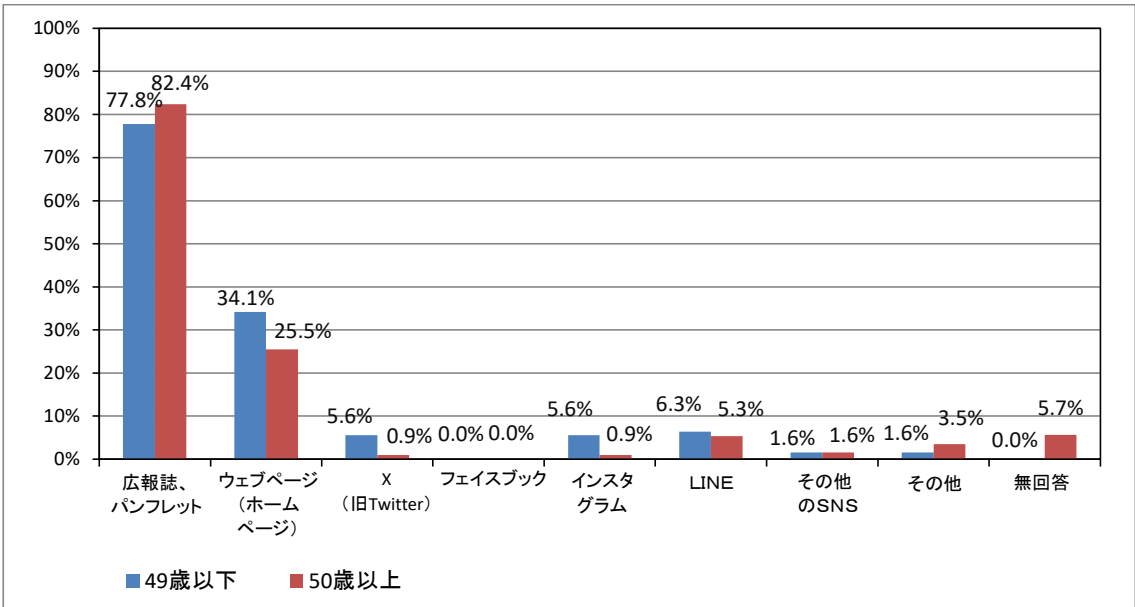


自治体の情報収集によく利用する広報媒体は、「広報紙」が 81.1% (R3 調査時:84.9%) と圧倒的に多く、次いで「ウェブページ」が 27.9% (R3 調査時:34.2%) で、その他インターネット上での情報収集はあまりされないことがわかった。なお、年齢別では、49 歳以下は 50 歳以上と比較するとウェブページや SNS から情報を収集する人の割合が増えることが分かった。

問 33 普段、池田市や他自治体の情報を入手する際によく利用する媒体は何ですか。(複数回答可)



◆ 年齢別

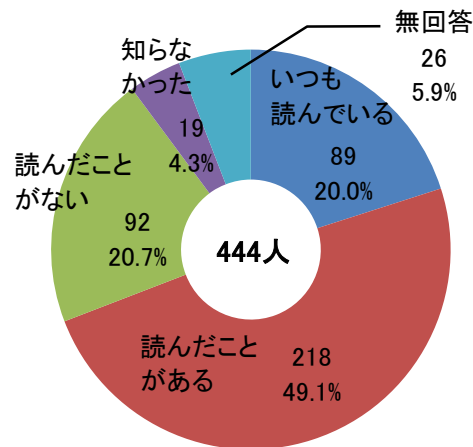


上下水道部広報紙「水だより」を「いつも読んでいる」が20.0% (R3 調査時:18.9%)、「読んだことがある」が49.1% (R3 調査時:55.6%)、その合計が69.1% (R3 調査時:74.5%) となり、令和3年度調査時と比較して読んでいる方の割合が少なくなった。

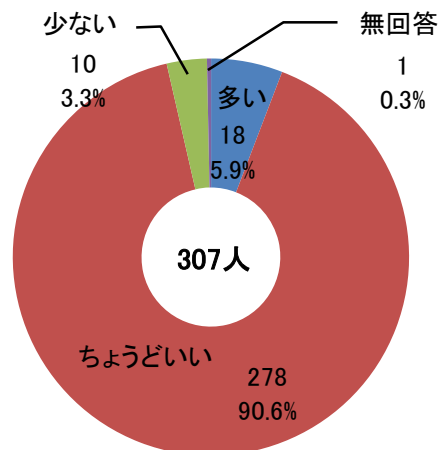
情報量としては「ちょうどいい」が90.6%とほとんどを占める割合となり、「多い」が5.9%と「少ない」の3.3%を上回る結果となった。

水だよりを読んだことがない理由では、「配達されていることを知らない」が42.4% (R3 調査時:46.8%) と最も多く、次いで「上下水道に興味がない」が22.8% (R3 調査時:24.7%) と多かった。しかしながら、それぞれの割合は令和3年調査時と比較してやや減少する結果となった。「その他」の内容としては、「軽く目を通すだけになっている」、「重要なことはホームページを見る」などがあつた。

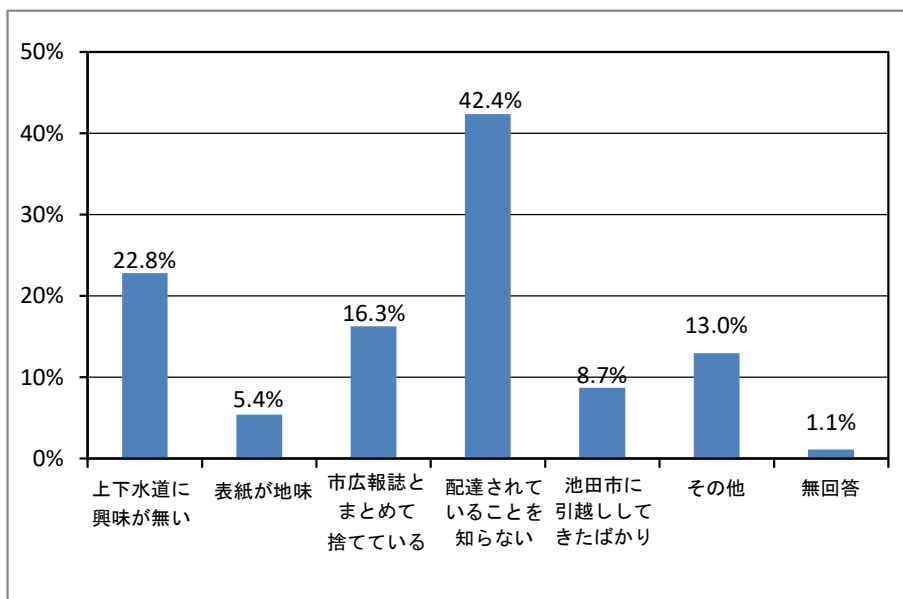
問 34 広報紙「水だより」を年4回発行していますが、読まれたことがありますか。



●「いつも読んでいる」「読んだことがある」と回答された方にお聞きします。広報紙「水だより」は1回4ページですが、情報量としては、どのように思われますか。

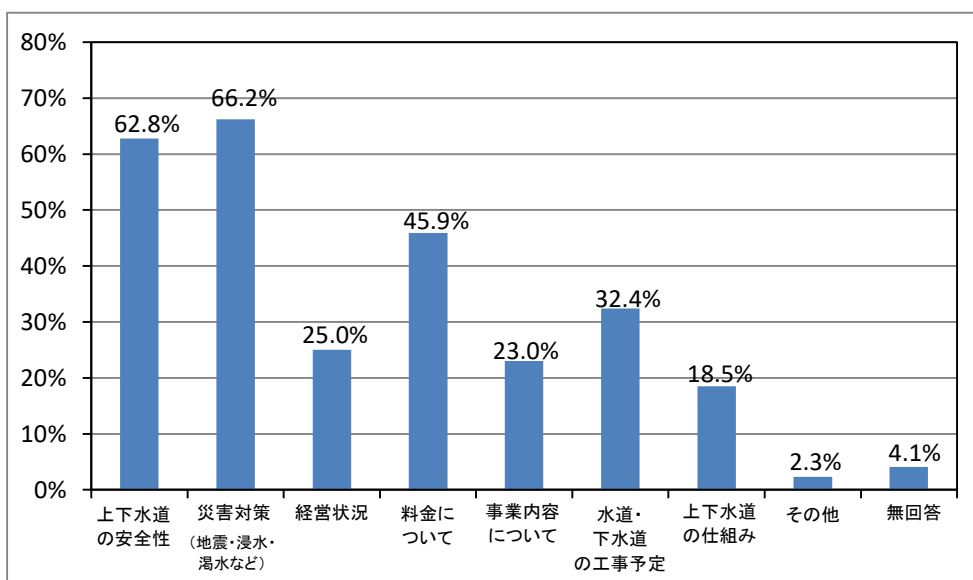


●「読んだことがない」と回答された方にお聞きします。
それはなぜですか。(複数回答可)



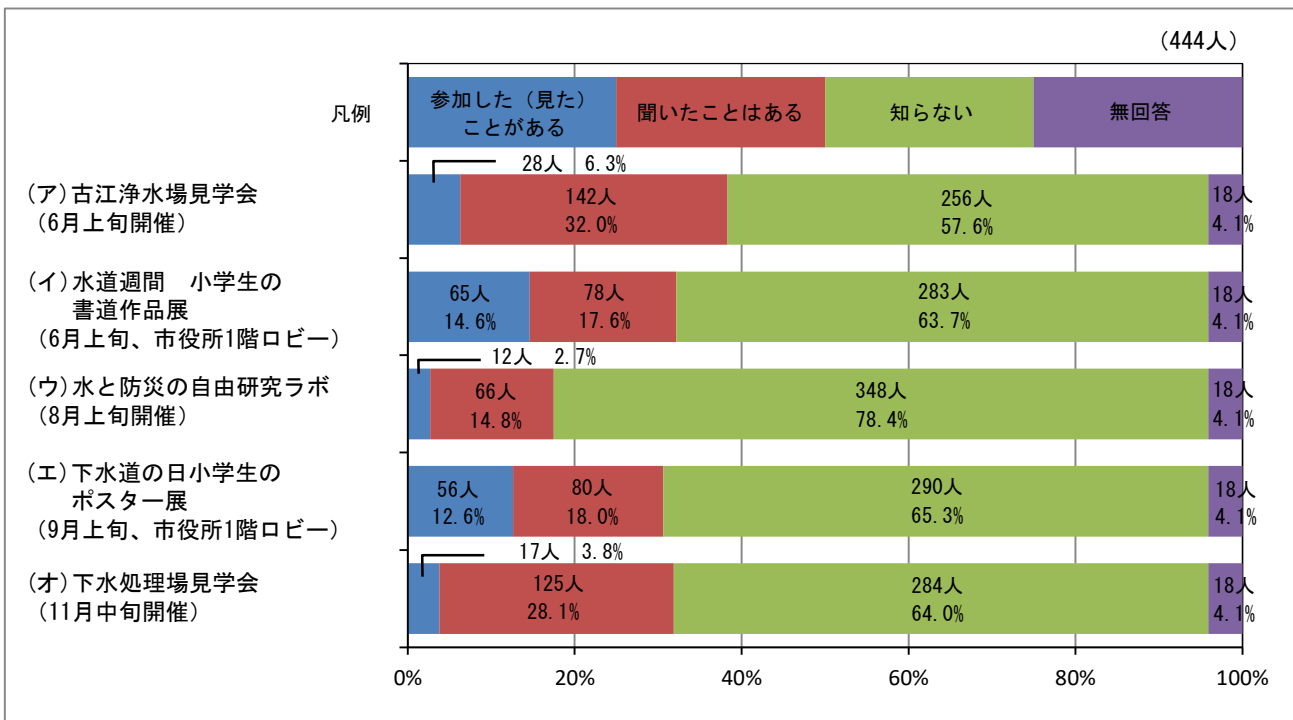
上下水道のことで知りたい情報は「災害対策」・「上下水道の安全性」・「料金について」が上位3項目となり、過年度のアンケート調査と傾向の変化はなかったが、「水道・下水道の工事予定」が増加傾向であった。

問 35 上下水道のことで知りたい情報は何か。(複数回答可)



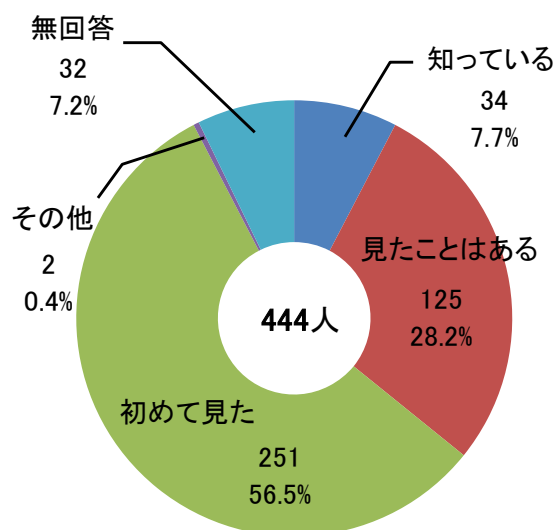
上下水道部が主催している各イベントについて、「古江浄水場見学会」の認知度（「参加したことがある」・「聞いたことはある」と回答された割合の合計）が 38.3%（R3 調査時：42.2%）と最も多かった。次に、「水道週間小学生の書道作品展」が 32.2%（H30 調査時：32.7%）と多く、「下水処理場見学会」（前回調査時は下水処理場体験見学会）が 31.9%（R3 調査時：32.2%）、「下水道の日小学生のポスター展」が 30.6%（R3 調査時：30.6%）と続いた。大半のイベントの認知度が令和 3 年度調査時と比較してやや減少する結果となった。各イベントは水だよりで広報しているため、水だよりの読まれている割合が減っていることが影響していると推察される。

問 36 上下水道部が主催している各イベントについて、あてはまるものを 1 つだけ選んでください。



平成 28 年 11 月から上下水道部の公式イメージキャラクターとして、パンフレットや広報紙、ホームページに「ぴちよりん」を活用している。ぴちよりんの認知度（「知っている」、「見たことはある」と回答された割合の合計）は、35.9%（R3 調査時：31.1%）となり、令和 3 年度調査時と比較して高くなっている。ノベルティのデザインで活用したり、水だよりに登場させるなど、市民に親しみのあるキャラクターとして広報に生かしていきたい。

問 37 上下水道部では、イメージキャラクター「ぴちよりん」による事業の PR 活動を展開していますが、このキャラクターを知っていますか。



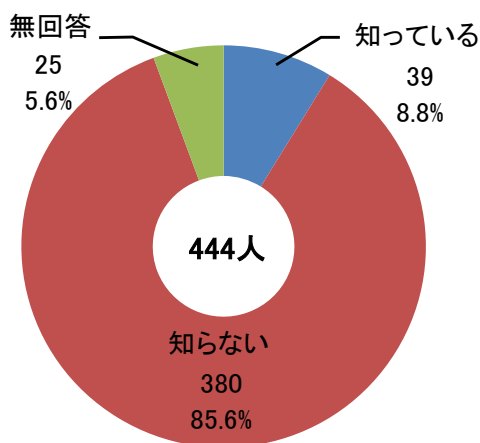
上下水道サポーター会議

上下水道サポーター会議は、池田市在住で上下水道事業に関心のある方をサポーターに任命し、いただいたご意見を上下水道事業の運営に反映させるために開催している。

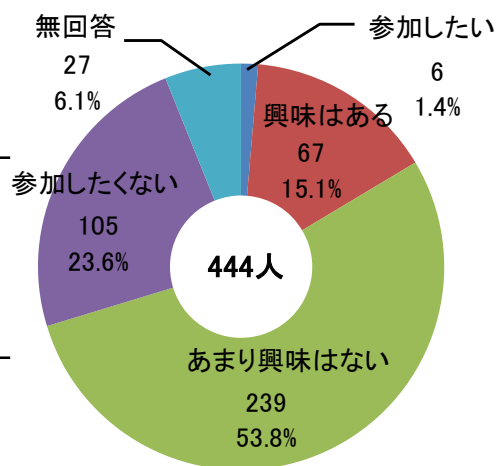
サポーター会議を「知っている」が8.8%(R3 調査時：5.1%)となり令和3年度調査時と比較し認知度が向上する結果となった。

「興味はある」の割合は15.1%(H30 調査時：16.0%)であった。サポーター会議に希望する内容には、「上下水道の将来ビジョン」や「老朽化施設の状況」、「施設見学」、「災害対策や自分でできること」などがあつた。サポーター会議に「あまり興味はない」、「参加したくない」理由としては、「現状に満足していて、特に言うことがない」が最も多かつた。その他の意見としては高齢を理由に参加できないといったものがあつた。

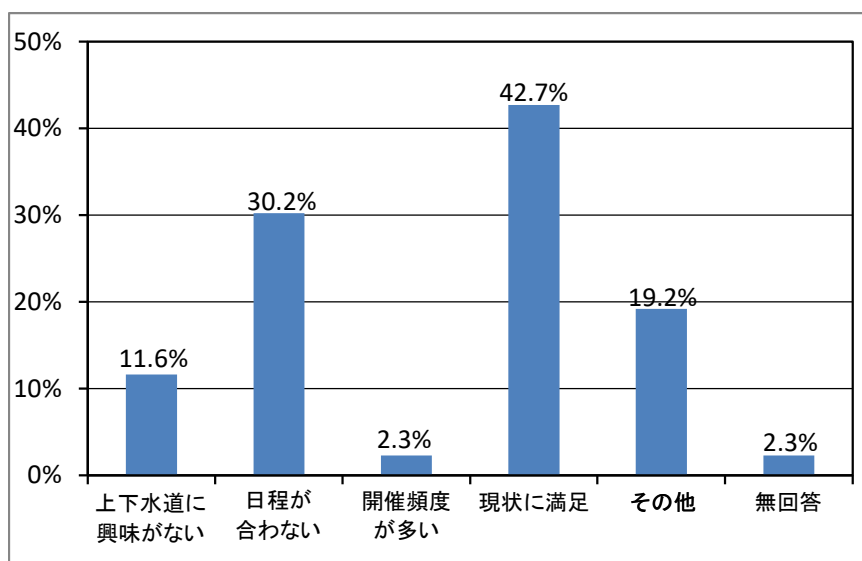
問 38 上下水道サポーター会議をご存知ですか。



問 39 上下水道サポーター会議に参加してみたいと思いますか。



●「あまり興味はない」または「参加したくない」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)



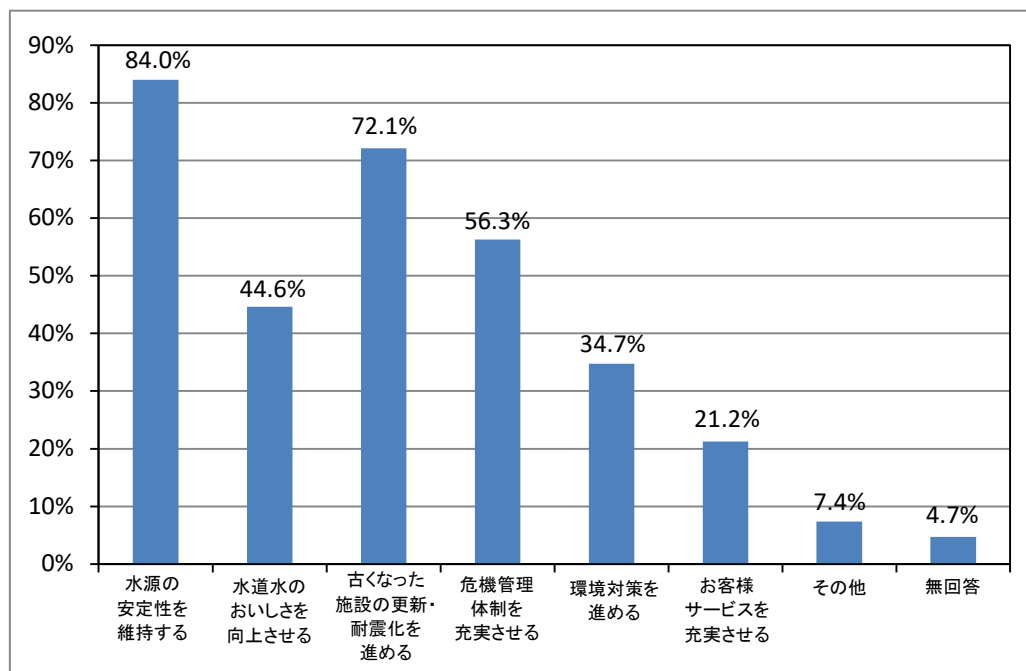
これからの上下水道に望むこと

水道事業の取り組みとして望まれることは、「水源の安定性を維持する」が84.0%（R3調査時：88.9%）と最も多かった。次に「古くなった施設の更新・耐震化を進める」が72.1%（R3調査時：75.6%）、「危機管理体制を充実させる」が56.3%（R3調査時：63.8%）となり、水道事業においては前回と同様に災害時を含め安定的な給水が特に求められる傾向となった。

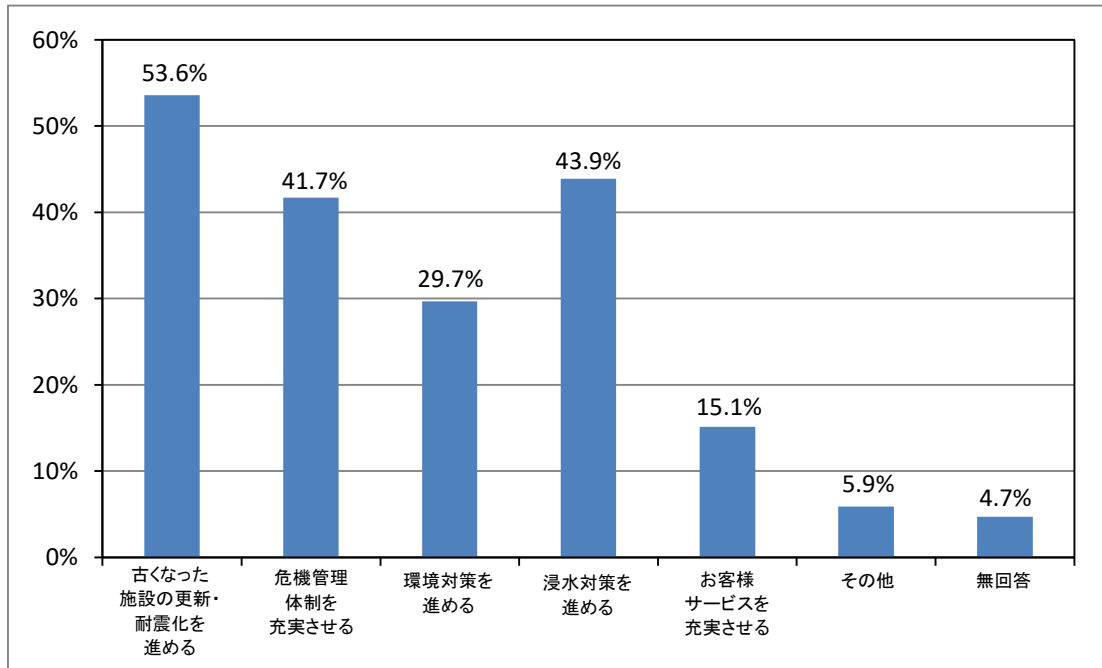
下水道事業の取り組みとして望まれることは、「古くなった施設の更新・耐震化を進める」が53.6%（R3調査時：51.6%）、「浸水対策を進める」が43.9%（R3調査時：49.1%）、「危機管理体制を充実させる」が41.7%（R3調査時：46.9%）と割合が高くなっており、前回と同様に既存施設の更新・耐震化と浸水対策を望む意見が同程度あることが分かった。

問 40 池田市では、上下水道事業の大きな使命である、「清浄・豊富・低廉・安全な水の安定供給」、「公衆衛生向上・浸水防除」を果たすため、様々な事業に取り組んでいます。将来を考えた場合、あなたはどのようなことを望みますか。（ア）から（ケ）の内、望むものに○をつけてください。（複数回答可）

【水道事業】



【下水道事業】



上下水道についてのアンケート調査

平素は、池田市上下水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

上下水道部では、上下水道事業運営の基礎資料とするため、皆様に上下水道のご利用実態や上下水道に関する意識調査等のアンケートをお願いしています。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は、無作為に選ばせていただいた 1000 世帯の皆様をお願いしております。また、回答いただいた内容については調査目的のみに利用し、他の目的には利用いたしません。

令和 7 年 1 2 月

池田市上下水道部経営企画課

回答にあたって

- このアンケートのあて名は、上下水道のご使用者としてお届けいただいている方のお名前になっていますが、ご家族の中で最も上下水道の使用状況について詳しい方に回答いただきますようお願いいたします。
- 回答は、特に指定がない場合は、設問ごとに 1 つだけ○印をつけてください。
- ご記入いただきました調査票は、1 月 3 0 日 (金) までに同封の返信用封筒に入れて、ご返送下さい。
- ウェブからでも回答できます。下記のフォームから回答ください。
(ウェブで回答された場合は、調査票の返信は不要です)
回答フォーム URL→<https://logoform.jp/f/089ma>



- 回答にあたりご不明な点がございましたら、上下水道部経営企画課までお問い合わせ願います。
- 結果につきましては、後日ホームページ等で公開する予定です。
ホームページ URL→<https://www.city.ikeda.osaka.jp/jogesuido/index.html>



(電話)072-754-6069 (FAX)072-751-3852 担当：山本、寺田

基本属性

問1 あなたの性別は。

- (1) 女性 (2) 男性

問2 あなたの年齢は。

- (1) 10歳代 (2) 20歳代 (3) 30歳代 (4) 40歳代 (5) 50歳代
(6) 60歳代 (7) 70歳以上

問3 同居人数は、ご自身も含めて何人ですか。

- (1) 1人 (2) 2人 (3) 3人 (4) 4人 (5) 5人
(6) 6人 (7) 7人以上

問4 あなたは池田市に住まれて何年になりますか。

- (1) 1年未満 (2) 1～5年 (3) 6～10年 (4) 11～20年
(5) 21年以上

問5 あなたのお住まいはどのような建物ですか。

- (1) 一戸建て (2) 5階建てまでの集合住宅（マンション、アパート等）
(3) 6階建て以上の集合住宅等 (4) その他（ ）

水源

問6 池田市の水道水源は主に猪名川（一庫ダム）・余野川であることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

問7 水源である猪名川・余野川の水の汚れに関心がありますか。

- (1) 関心がある (2) これから関心をもちたい (3) 関心はない

問8 大阪広域水道企業団（水源は淀川）からも一部受水していることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

問9 将来的に猪名川の水源を保有し続けるためには古江浄水場の更新など多額の費用がかかることから、その財源として水道料金の値上げが必要である場合、その対策として大阪広域水道企業団（水源が淀川）から100%受水することも考えられます。これについて、どのように思われますか。

- (1) 水道料金を値上げしてもいいので、猪名川の水源から水道水をつくってほしい
(2) 水道料金の値上げをしないように、大阪広域水道企業団の水道水にしても構わない
(3) どちらともいえない

水道水の安全性

問10 水道水をどのようにして飲みますか。

- (1) 直接飲む (2) 煮沸して飲む (3) 浄水器を通して飲む (4) 飲まない
(5) その他 ()

●水道水を飲む方(飲み方は問わない)にお聞きします。池田市の水道水の味について、どのように感じますか。

- (1) おいしい (2) 普通 (3) まずい (4) 特に気にしていない
(5) その他 ()

●水道水を煮沸して飲む方、浄水器を通して飲む方、飲まない方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 安全性が気になる (2) においが気になる (3) 味がまずい
(4) その他 ()

問11 現在の水道の水質をさらに良くした場合、料金が高くなる可能性があります。それをどのように思いますか。

- (1) 料金が高くなってもよいので、水質をさらによくしてほしい
(2) 水質は今のままを維持してほしい
(3) 水質が悪くなってもよいので、料金を安くしてほしい

水道水の使用状況

問12 お風呂(シャワーを含む)は毎日入りますか。

- (1) はい (2) いいえ(週 回)

●湯船にお湯は溜めていますか。

- (1) はい(毎回) (2) ときどき(週 回) (3) いいえ(シャワーのみ)
(4) その他 ()

問13 洗濯は何回しますか。

- (1) 毎日2回以上(回) (2) 1日に1回 (3) 2~3日に1回
(4) 4~5日に1回くらい (5) その他()

問14 食器洗いの際に食洗器は利用していますか。

- (1) 利用している (2) 利用していない

問 2 4 水道料金、下水道使用料についてどのように感じていますか。

- (1) 安い (2) やや安い (3) 普通 (4) やや高い (5) 高い

電気・ガス料金は1カ月毎のお支払いですが、水道料金は下水道使用料と合わせて2カ月分を一度にお支払いいただいております。

● 「やや高い」、「高い」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 以前住んでいたところと比べて (2) 電気・ガス料金と比べて
(3) 利用の頻度に対して (4) その他 ()

問 2 5 水道料金、下水道使用料の値上げ・値下げについてどのように考えていますか。

- (1) 安くできるのであれば、老朽化施設の更新や災害対策を先延ばししても構わない
(2) 高くなってもよいので、老朽化施設の更新や災害対策を早急に進めてもらいたい
(3) どちらとも言えない (4) その他 ()

問 2 6 水道事業・下水道事業は水道料金・下水道使用料で運営していますが、池田市では水道料金・下水道使用料による収入が年々減少傾向であることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

問 2 7 今後、現在よりも人口が減少していく中で水道事業・下水道事業を支えていく必要がありますが、それは重要な問題だと思いますか。

- (1) そう思う (2) ややそう思う (3) どちらとも言えない
(4) ややそう思わない (5) そう思わない

民間委託

問 2 8 水道メータの検針を上下水道部の職員が実施せず民間に委託していることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

問 2 9 夜間や休日の業務を上下水道部の職員が実施せず民間に委託していることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

これからの上下水道に望むこと

問40 池田市では、上下水道事業の大きな使命である、「清浄・豊富・低廉・安全な水の安定供給」、「公衆衛生向上・浸水防除」を果たすため、様々な事業に取り組んでいます。将来を考えた場合、あなたはどのようなことを望みますか。(ア)から(ケ)の内、望むものに○をつけてください。(複数回答可)

	水道事業	下水道事業
(ア) 水源の安定性を維持する		
(イ) 水道水のおいしさを向上させる		
(ウ) 古くなった施設の更新・耐震化を進める		
(エ) 危機管理体制を充実させる		
(オ) 環境対策を進める		
(カ) 浸水対策を進める		
(キ) お客様サービスを充実させる		
【水道事業】		
(ク) その他 ()		
【下水道事業】		
(ケ) その他 ()		

★その他、上下水道事業についてお気づきの点がありましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。